



# 寝取られ介護

隣の部屋では妻とアイツが...

ぴゅあらいと

基本CG15枚 本編257枚

ん、

ん!!  
ん、

んん  
ん、  
...



んん  
ん、

んん  
ん、  
...





んっ…  
どろっ…

気持ちいい  
…?

ちゅ  
ぷっ

ちゅ  
ぷっ

ああ  
気持ちいいよ  
遥香  
そのまま続けて…

ちゅ  
ぷっ

うん…♡



ここが  
気持ちいいん  
だよね...?

そう  
上手だよ

えへへ♡

はぁ

はぁ

♡♡♡

♡♡♡



いっちゃんいっちゃんなる  
そのまま  
出しちゃっても  
いいからね？

ありがとう  
ああっ  
でも……



あっ...

.....

アハハ

すまない  
遥香…  
やっぱり  
今日はもう…

ううん  
気にしないで  
私の方こそ  
ごめんね…

私が下手くそ  
だから…

そんな  
事ないよ…




それじゃあ  
おやすみ



……  
愛してるよ  
遥香

うん♡  
私も愛してるわ  
あなた♡

ちゅっ♡  
♡……♡



いってらっしゃい  
あなた  
今日もお仕事  
頑張っ  
てね!

ああ  
いって  
きます

俺の名前は  
立花孝介  
どこにでもいる  
平凡なサラリーマンだ

結婚3年目になる  
妻の遥香との間に  
子供はいない

結婚当初は仕事が  
忙しかった事もあり  
子供の事をズルズルと  
先延ばしにし

ここ最近では  
妻との夜の関係も  
すっかり無くなって  
しまっていた



妻の事は愛している  
だが結婚当初のような  
ドキドキした感情は  
薄れ切ってしまった  
いるのもまた事実だった

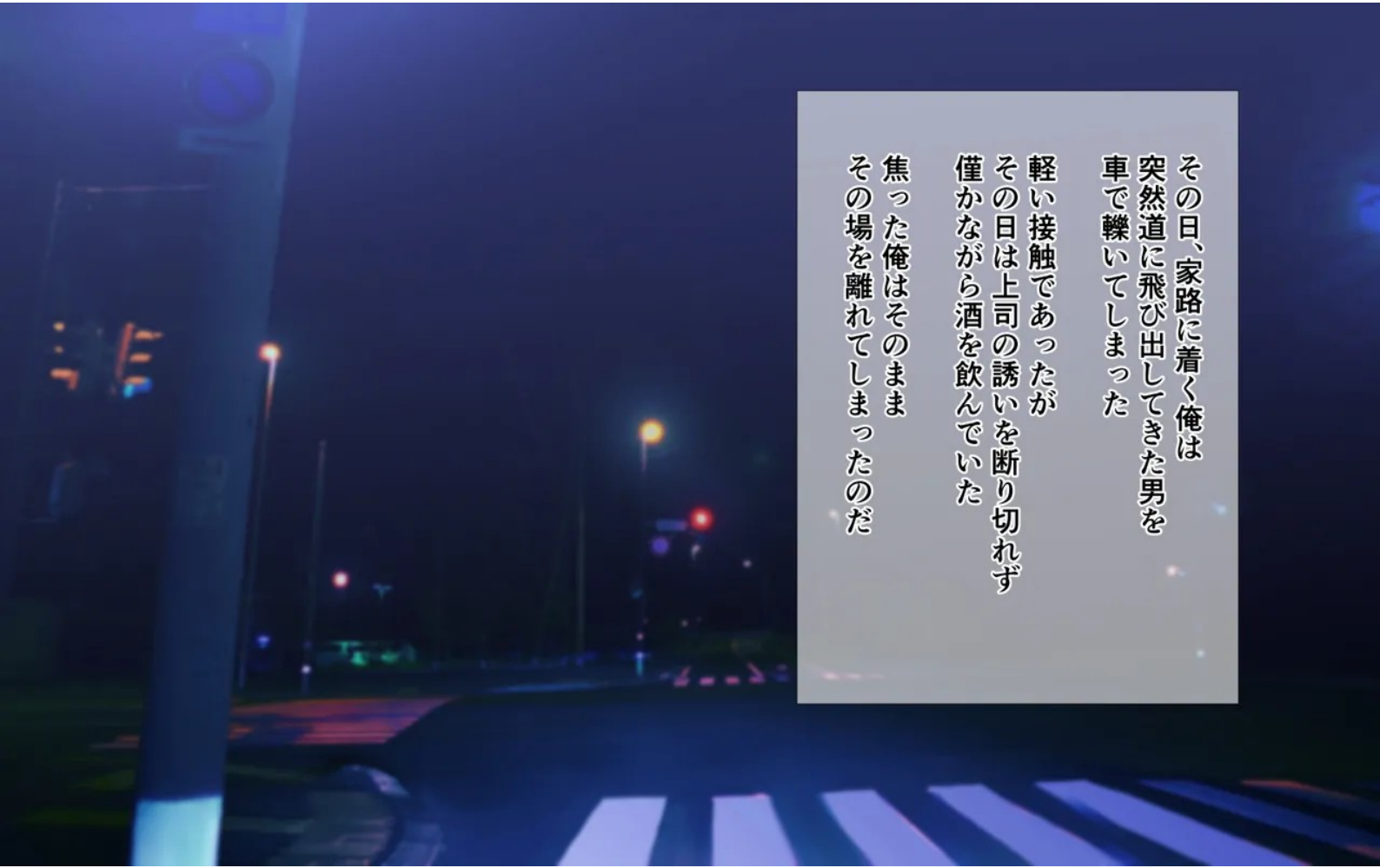
それを証明するかのように  
身が入らなくなるセックスに

「これでいいのだろうか？」  
「夫婦というのはこういうものなのだろうか？」  
なんていう疑問を僅かながら抱きつつも  
俺は平平たる日常を送っていた



だが  
そんな俺の日常は  
とある出来事をきっかけに  
大きく崩れ去る事になる…



A night street scene with a crosswalk and streetlights. The scene is dimly lit, with a blueish tint. A crosswalk with white stripes is visible in the foreground. In the background, there are streetlights and a traffic light pole on the left. The overall atmosphere is quiet and somewhat somber.

その日、家路に着く俺は  
突然道に飛び出してきた男を  
車で轢いてしまった

軽い接触であったが  
その日は上司の誘いを断り切れず  
僅かながら酒を飲んでいた

焦った俺はそのまま  
その場を離れてしまったのだ

おかえりなさい  
あなた

?

どうしたの？  
そんなに血相を  
変えて…

じっ…  
実は…

大変じゃない！  
どうしましょう…  
とにかく直ぐに戻って…

その必要は  
ないですよ

!?

貴方は…？

隣の部屋に住んでる  
木本って者ですがね…  
たった今その男に  
ひき逃げされた  
被害者でもあります

間違いない…  
その男の背格好には  
見覚えがあった




なんて事!  
あっあの  
お怪我は大丈夫  
ですか:!!

大丈夫なわけ  
ないでしょう!!  
今から病院へ  
行くところですよ!

それよりお前  
酒を飲んでるな...?  
飲酒運転で  
ひき逃げとは...

覚えてろよ  
必ず警察に  
突き出してやる...!!



なっ何と謝罪したいいか…  
とにかく病院へ…  
タクシーを呼びますので  
私も付き添わせてください

ふん！  
ひき逃げ犯なんかに  
付き添われたくなんか  
ないねっ！！

あのっ  
でしたら私  
だけでも…



奥さんが  
…?

…  
…  
…

ブン

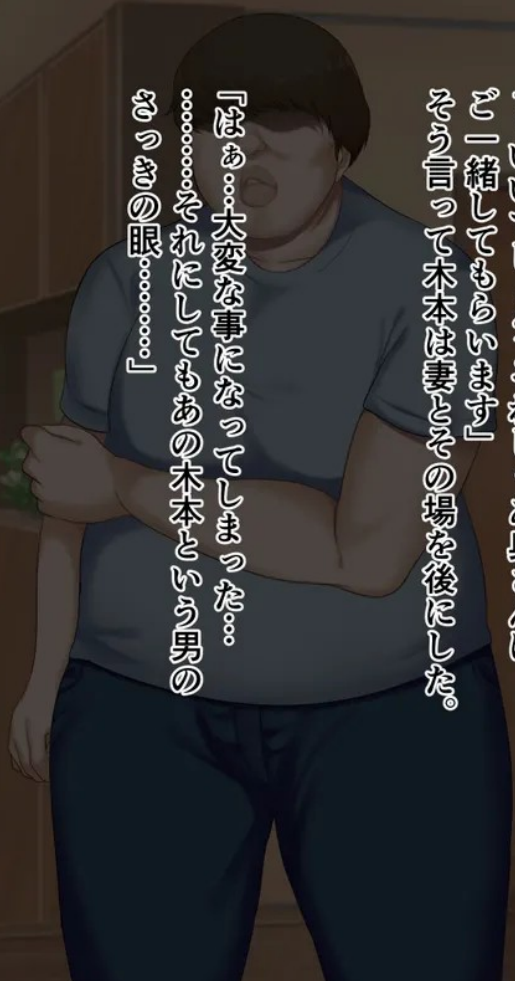
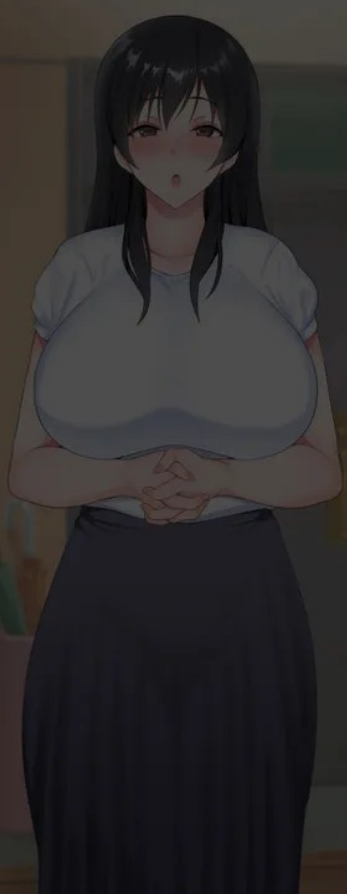
ムキッ

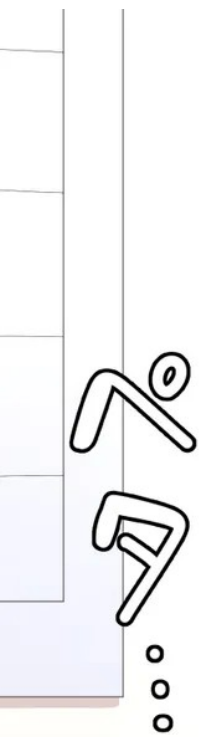
木本はジロリと  
妻の身体を眺めた

「……うん、しょう、それじゃあ奥さんに  
ご一緒してもらいます」  
そう言って木本は妻とその場を後にした。

「はぁ……大変な事になってしまった……  
………それだしてもあの木本という男の  
おっぴの眼………」

混乱した状況の中  
俺はそれとは別に何か妙な胸騒ぎを  
感じていた……





はあ…  
それにしても  
大丈夫だろうか…

数日後  
俺は不安な気持ちで  
部屋を歩き回っていた

その後、木本は一転して  
この件に条件付きでの示談を  
持ち掛けてきた

しかし  
その条件というのが…

あの事故で  
利き腕を怪我しましてねえ

怪我で支障をきたした  
日常生活の手助けを  
あなたの  
奥様をお願いしたい

という  
ものだったのだ

こんな事を  
頼んでしまつて  
本当にいいのかい？

ええ、幸い木本さんは  
お隣同士だし

こっちのせいで  
不自由させてしまつて  
いるんですもの

出来る事は  
させてもらわなきゃ



なんて言っただけのもの  
本当に大丈夫だろうか…  
生活の手伝いだの言っていたが  
男と女が同室で二人っきりなんて…

いや…  
俺の考えすぎか…

部屋の掃除でもしていよう  
遥香に面倒を  
かけてしまったんだ  
家事くらい俺がやらないと…



それは部屋の写真立てが  
微かに揺れる音だった

地震…?  
いや違う…  
何だ…?  
何の音だ…!?

!!

カク…

カク

カク…

隣の部屋からだ…

カ  
ク

カ  
ク

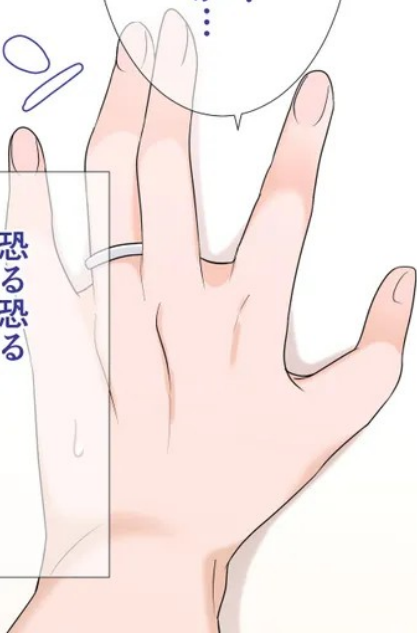
カ  
ク

ドクン、と  
胸の奥にしまい込んでいた  
不安が疼くのを感じた

カ  
ク

ハア…ハア…  
そんなまさか…

恐る恐る  
俺は部屋の壁に  
耳を近づける



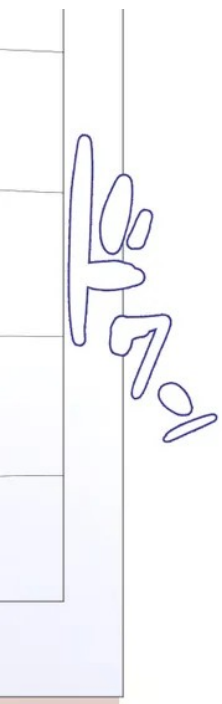


それは隣室の  
木本の部屋から僅かに  
聞こえてくる  
軋むような音

この音は……！  
まさかっ……！！

俺の頭の中を  
最悪な想像がよぎる

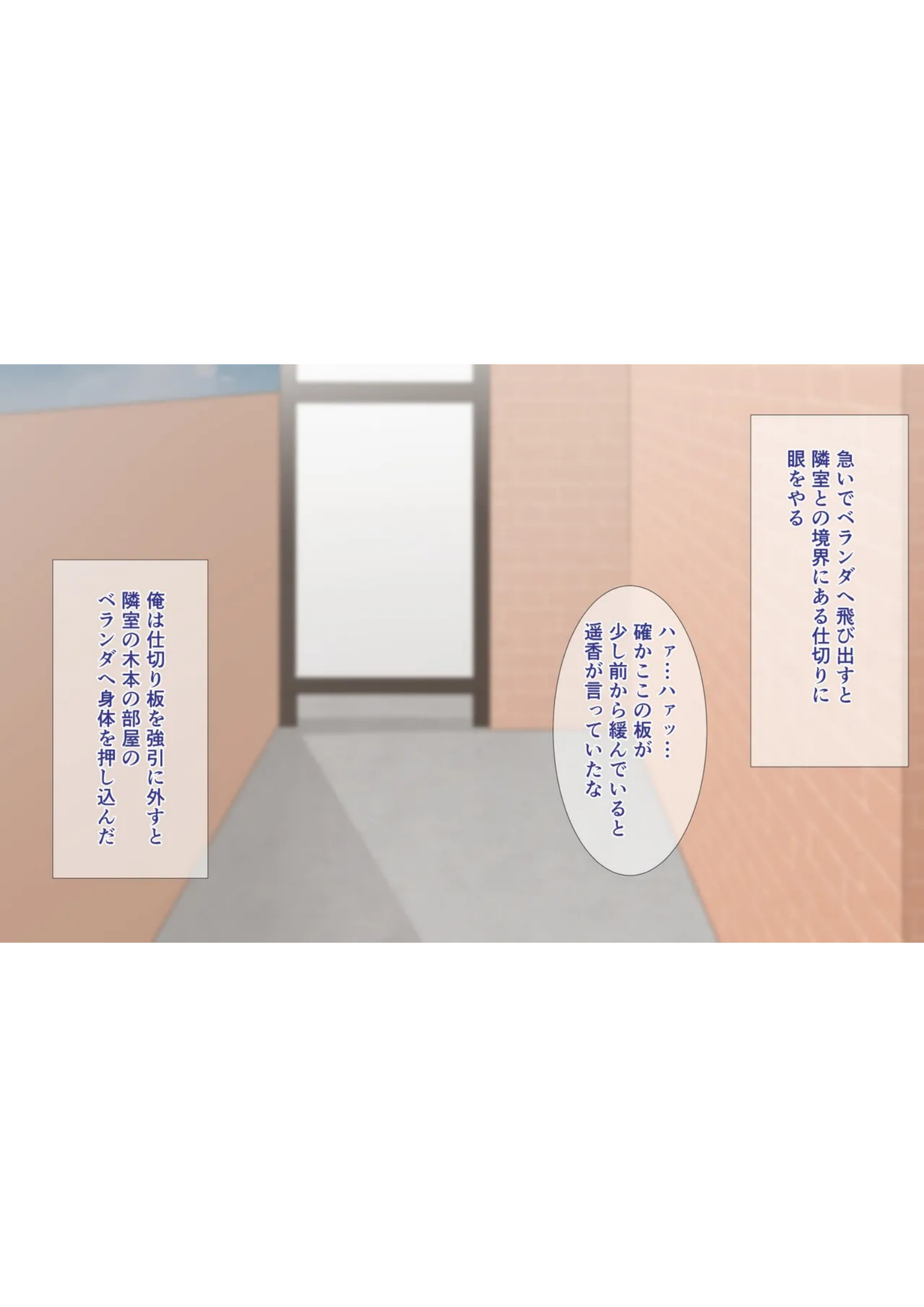




だが俺の考えすぎ  
という事も……  
そうだ……!

大変だッ……  
急いで遥香の元へ  
向かわないと……

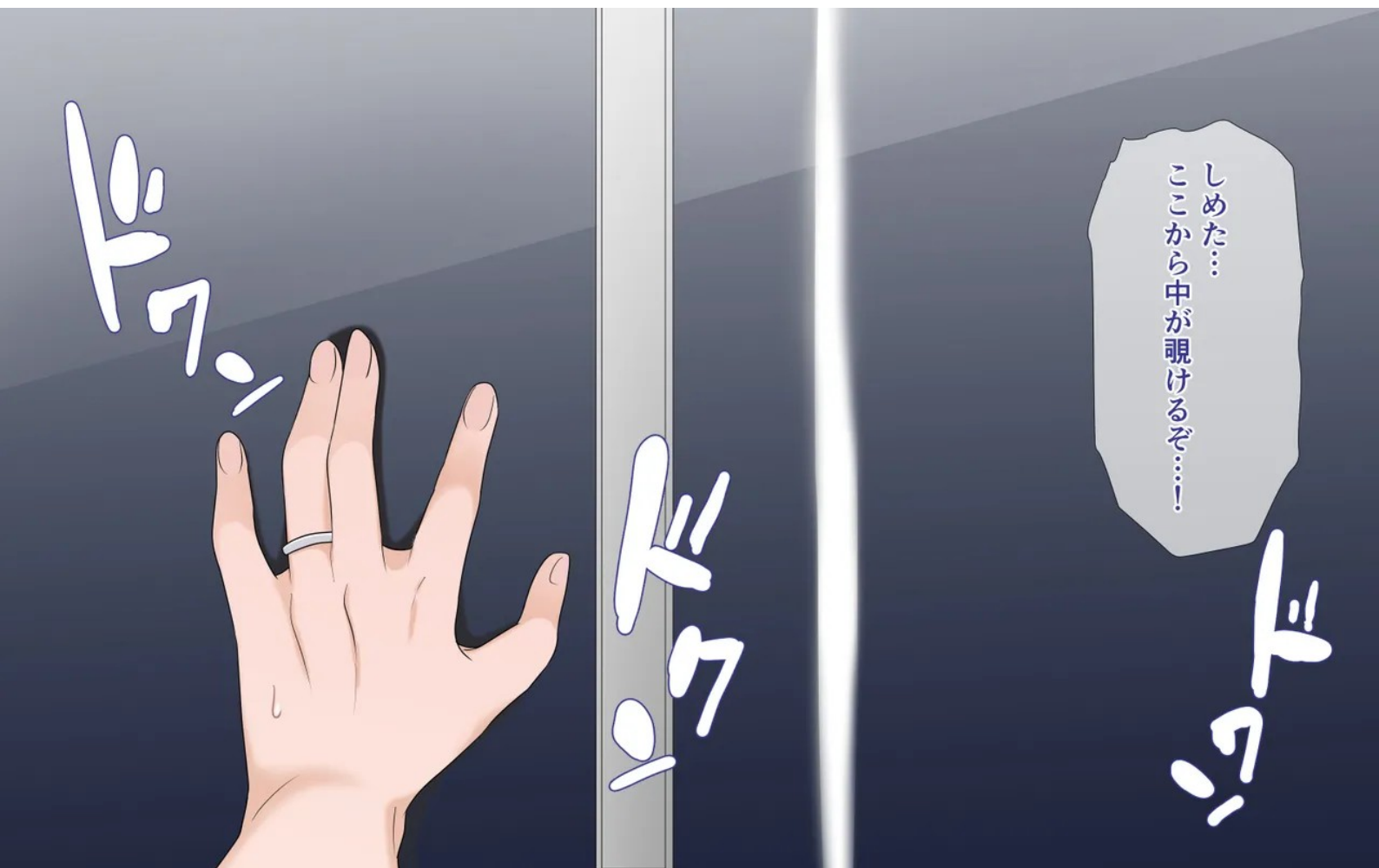




急いでベランダへ飛び出すと  
隣室との境界にある仕切りに  
眼をやる

ハア…ハアツ…  
確かこの板が  
少し前から緩んでいると  
遥香が言っていたな

俺は仕切り板を強引に外すと  
隣室の木本の部屋の  
ベランダへ身体を押し込んだ



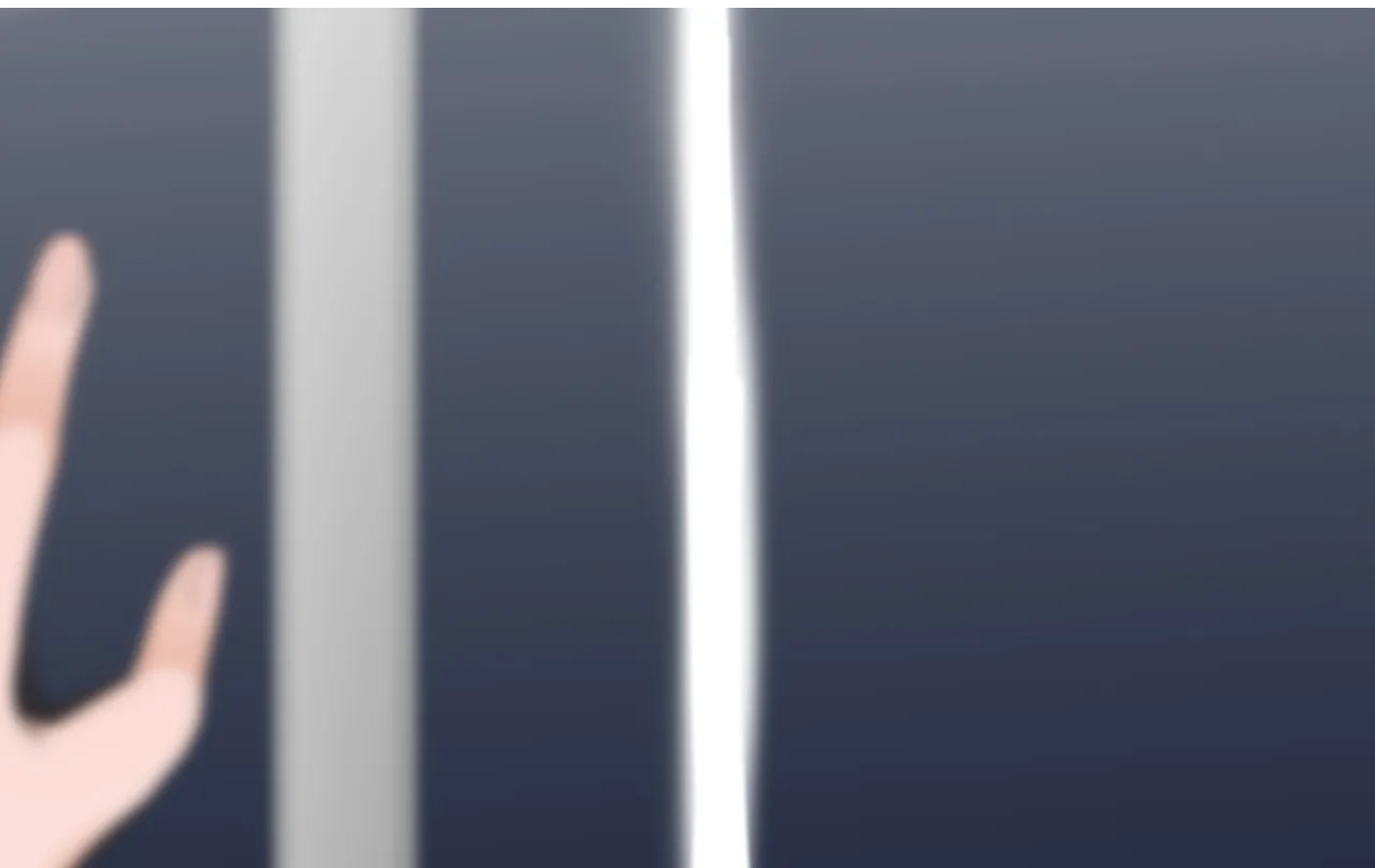
ドク

ドク

しめた…  
ここから中が覗けるぞ…!

ドク







そこには  
一塊になる  
木本と遥香の姿があった

そのあまりの光景に  
俺はその場に凍り付いた

オホッw

オホッw

ズザッ

ズザッ





ハアツ!  
ハアツ!  
ハアツ!

ぶほほっ!  
最高!!

はっ

はっ

ヌレヌレ  
人妻おまんこ  
最高に気持ちいい  
ですよ遥香さん!!



ブヒヒW  
夢みたいだなあ!

はっ

隣に越してきてから  
ずっとズリネタに  
してきた遥香さんと  
セックス出来るなんて!

はっ

ふはあ〜♡  
ああ〜遥香さん  
いい匂い♡  
なんてスकेベな  
メスの香りなんだ

盗んだ遥香さんの下着を  
嗅いでオナニーしすぎて  
廊下ですれ違うだけで  
勃起するようになった  
遥香さんの匂いだあ♡

ほあ

す〜

やっ…  
やめてください…

ゴリ

ゴリ





やめてくださいいじゃないでしょ！  
遥香さんがオーケー  
したんじゃない

僕の世話をしてくれる  
代わりに警察沙汰  
にはしないって

それとも  
旦那を前科者に  
したいのかなあ??



おっおっ  
ヤベエっ!  
マジおまんこ  
気持ち良すぎて  
チンポ溶けそう!!

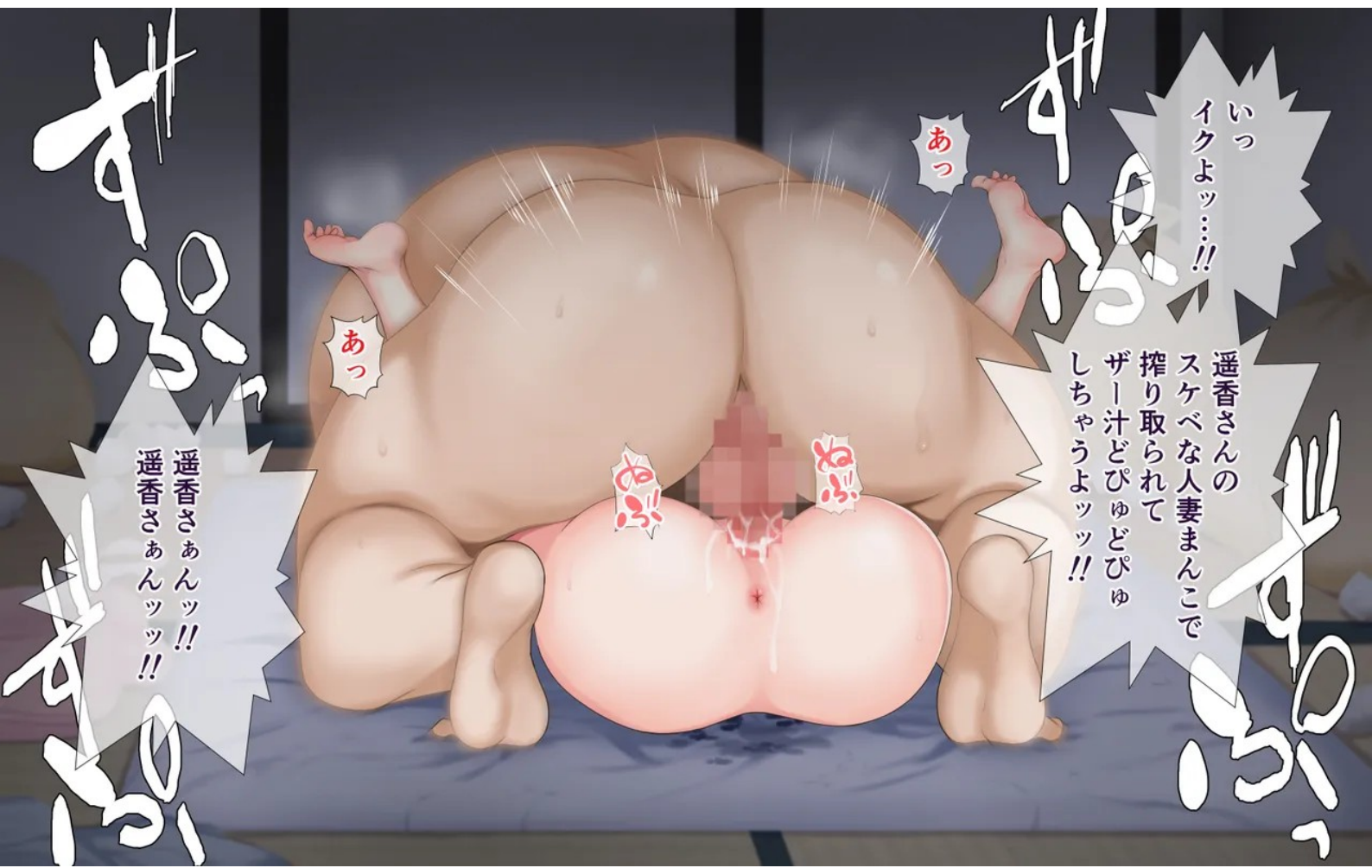
あんっ  
やっ!

あんっ

あっ

70ん

70ん



いっ  
イクよッ...!!

遥香さんの  
スケベな人妻まんこで  
搾り取られて  
ザー汁どびゅどびゅ  
しちゃうよッ!!

遥香さあんツ!!  
遥香さあんツ!!



おツツ…!!

ほおおおツツツ  
……!!  
!!  
!!

ああああんツ!!



オホオオオ...

ゴゴゴ  
ゴゴゴ

ゴゴ

ゴゴ...

ゴゴ

ゴゴ

おっ...

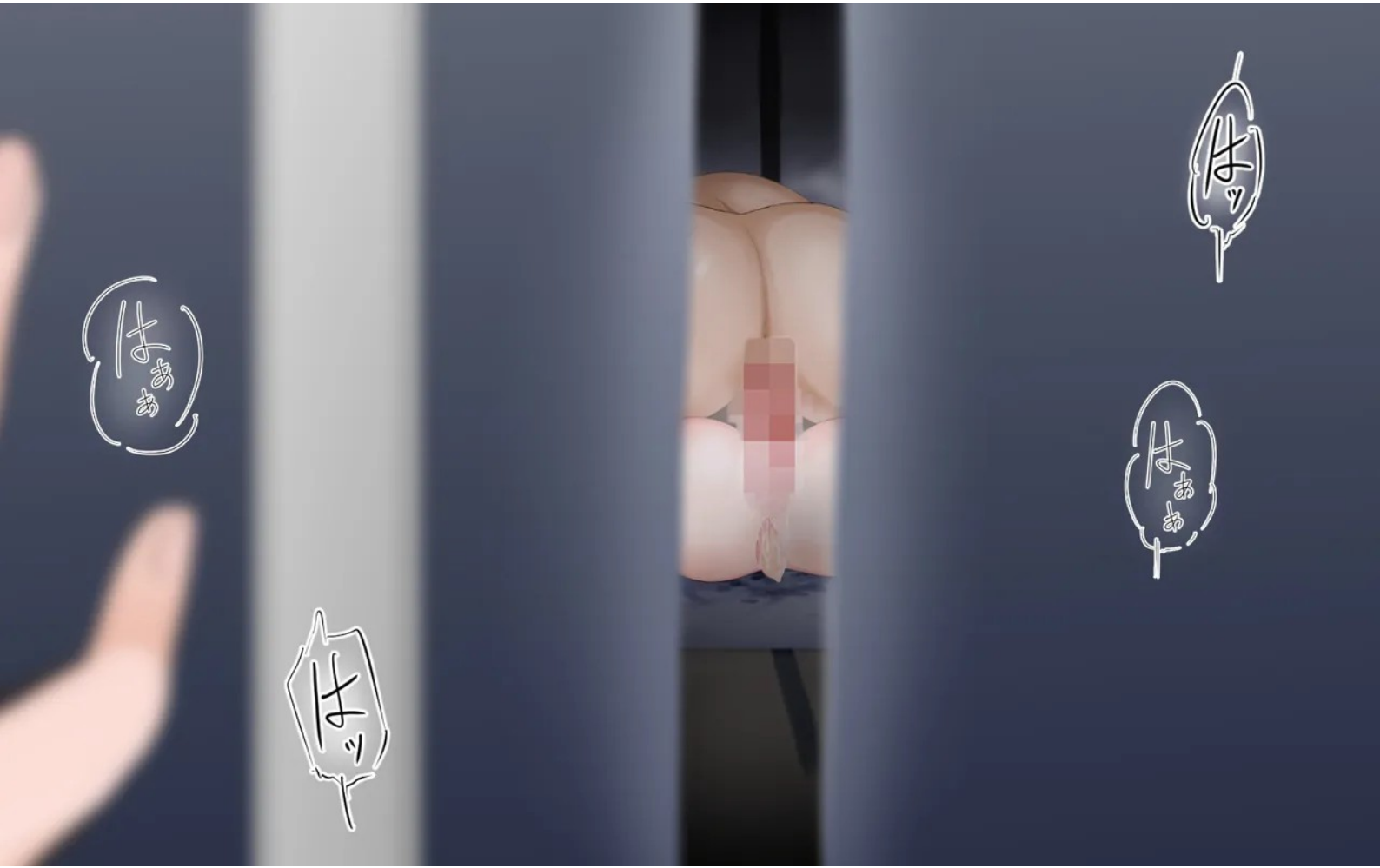
おっ

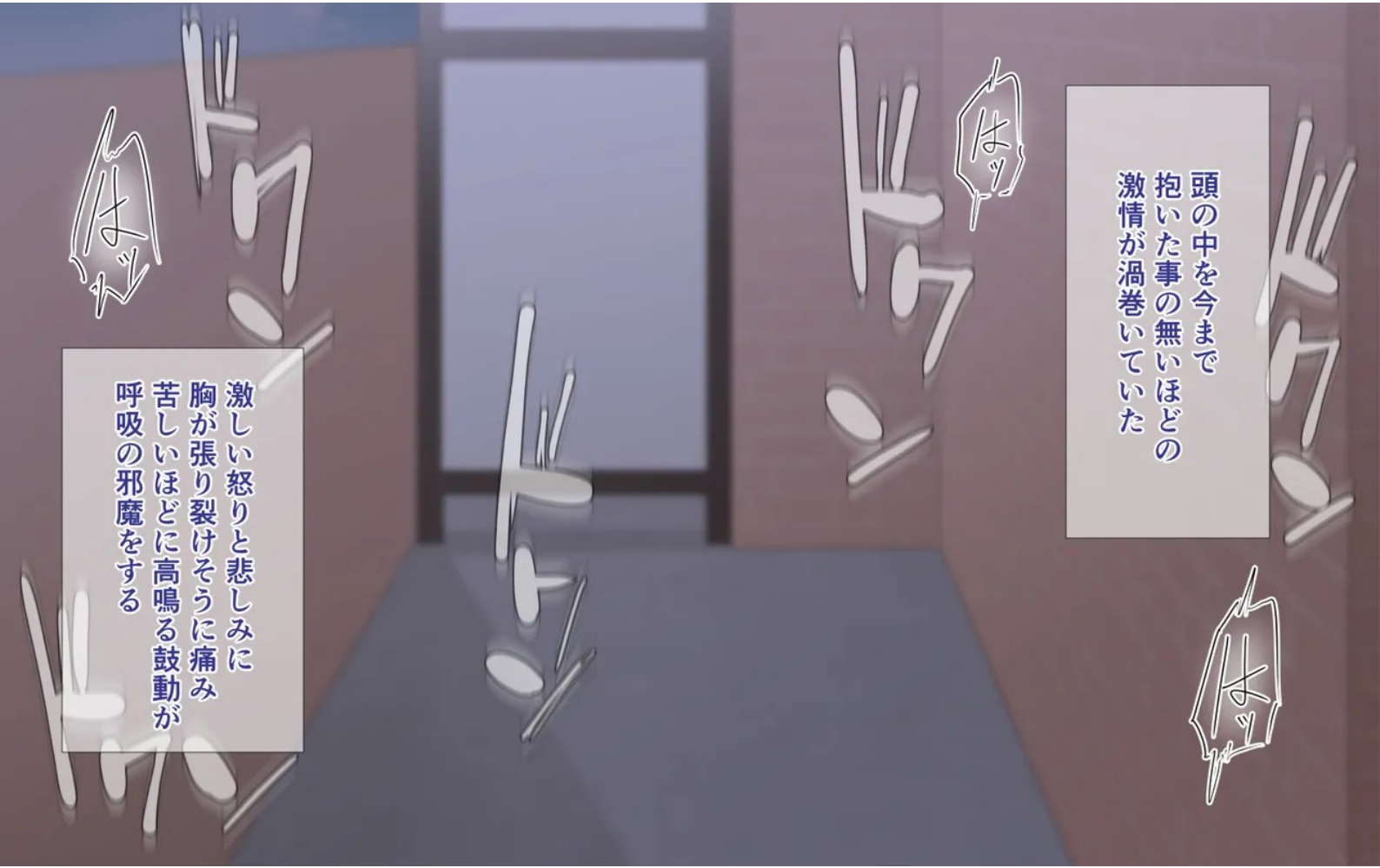
おっ











頭の中を今まで  
抱いた事の無いほどの  
激情が渦巻いていた

激しい怒りと悲しみに  
胸が張り裂けそうに痛み  
苦しいほどに高鳴る鼓動が  
呼吸の邪魔をする



遙香っ…  
遙香っ…遙香…!!





はっ  
遥香ツツ…!!

か  
は

ただいま

あら…  
どうしたの  
あな…

どうしたの…?  
私がいなくて  
寂しくなっちゃった?

どうしたのって…  
お前…大丈夫なのか…?

何も…なかったか?  
あいつの部屋で

……

うん  
大丈夫

何も  
なかったよ

キユ

ウ

そう言って  
俺を抱きしめ返した  
妻の身体からは

嗅ぎなれた  
妻の甘い香りと

妻からは香った事のない  
知らない男の匂いがした



胸の中に  
渦巻いていた  
激しい怒りと  
悲しみと嫉妬

苦しいほどに  
湧き上がる  
妻への愛情

きゃっ!

そして

これまでに  
抱いた事の無い程の  
劣情が  
堰を切ったかのように  
溢れ出した

か  
は



ハアッ…!  
ハアッ…!

遥香ッ…  
遥香ッ…!!

やっやめて…!  
急にどうしたの  
あなた…!?



ハアツ…  
なんてエロい  
身体をしているんだ

俺の妻は  
こんなにも  
淫靡な身体を  
していたのか

この身体をツ…!!  
俺の妻をあいつはツ…!!  
ぐっ………!!

アハッ

ムキ

ムキ

ムキ

ムキ



くっ……  
遥香アツ……!!

ああんっっ!!

グハ

す



は

あんっ  
あんっ  
あっ

あなたっ  
やめてっ

ハアッ...!  
ハアッ...!  
ハアッ...!

遥香ッ...  
遥香ッ...  
遥香ッ...!!

ブルン

ブルン

ぬ  
ぬ  
ぬ  
ぬ

ついさっきまで他の男のものを  
挿入されていた  
妻のあそこが愛液を  
滴らせながらしっかりと俺の  
ペニスを啜え込む

俺は脳裏に焼き付いた  
先刻の光景を  
かき消すかのように  
膨張したペニスを  
妻の中に叩きつけた





だめっ

あ

あ

グハッ

グハッ

グハッ

グハッ

俺の妻をつ...!  
この身体を  
あいつはッ...!!

なんて  
愛おしいんだッ  
遥香っ...!  
遥香っ...

煮えたぎる怒りや悲しみと  
込み上げる  
妻への愛情と劣情が  
俺の体の中で  
ぐちゃぐちゃに混ざり合う

脳が霞む様な昂りに  
俺の全身は支配されていた



遥香ッ…!!  
遥香ッ…!!

何で俺は  
遥香をあいつの  
部屋なんか  
行かせて  
しまったんだ

あの時俺が  
遥香を止めていれば  
あんな事にはつ…

だめ

あ

オオオオ

オオオオ

オオオオ

あんなつ…

……うがひんんん









もう…  
どうしちゃったの  
あなた…

ちょっと家を  
空けただけで…  
そんなにやきもち  
焼いちゃった？

は、

は、

意識が飛びそう  
な程の絶頂を迎え  
次第に冷静さを  
取り戻す俺の脳裏に

認めざるを得ない  
ある感情が  
浮かび上がった



あの時

醜悪な隣人に犯される  
妻の姿を目の当たりにして  
強い怒りと嫉妬に打ち震えながら

俺は  
興奮していたのだ

それも激しく  
言葉では  
言い表せない程に

はあ

はッ

もう一度  
もう一度だけ  
あの興奮を味わって  
みたい…

俺の心に  
悪魔の声  
が囁いた

はっ  
遥香……

……  
?





……今日から……  
うちの家事は  
全部俺に任せてくれ

ごめんな……  
面倒をかけて  
しまつて……

あなた……



ワズ


毎日  
インスタント  
ラーメンは  
嫌だなあ私

それは  
どうだろう…



こうして俺は

背徳の海に  
飲まれ始めて  
しまった…



次の日から  
毎日妻を隣室へ送り出すと  
部屋を抜け出し  
妻と木本の行為を覗き見る事が  
俺の日課となった

それは想像を絶するほどの苦痛と  
得も言えぬ興奮を同時に味わう  
背徳の日々だった……



ほら遥香さん…  
今日も手が痛くて  
満足にオナニーも  
出来なくて大変なんだ

遥香さんの  
可愛いお口まんこで  
僕のザーメンしっかり  
搾り取るんだよ♡

くっ…  
口で…ですか…？

ムワッ









オツツ……

ホオオオオツ……!!

ツツツ  
ツツツ  
ツツツ  
ツツツ  
ツツツ

ぬ  
る





うほおッ…!  
口の中あつたけえ…

人妻くちまんこ  
気持ちいいよ  
遥香さんっ…!

ちやぷちやぷ

ん

ぬる

ちやぷちやぷ

ん

ちやぷちやぷ

ちやぷちやぷ

ちやぷちやぷ



ほらっちゃんと  
僕の顔見て  
しゃぶるんだっ...!

そうそうっ  
ああっ可愛いよ  
遥香さん

ちゅぽっ

ちゅぽっ

ちゅぽっ

ちゅぽっ

ちゅぽっ



ハアツハアツ  
ほらっ玉も  
しっかり舐めて

グ  
イ  
ツ

モ  
ワ  
マ

あっ…  
えっ…?

ほらっ  
早くっ!!





ハアッ  
ハアッ

ざらついた舌の表面が  
敏感な所を  
刺激してめちやくちや  
気持ちいいっ…!

はっ

ぴちゃ

ネロ  
ネロ

ぴちゃ

はっ

ほらっ…  
そのまま裏筋まで  
舐め上げてっ…!

んっ…





そろそろ  
イかせて  
遥香さんッ！

ハアッ  
ハアッ  
もうチンポ  
たまんねえっ！

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ん

ん



ほらっ!!  
いつまでそんな  
かまとぶった  
フェラしてるんだっ!

んっ…  
んえ…?

もっとスケべなまんこ顔  
晒していやらしく  
しゃぶんないと  
いつまでたっても  
ザーメン飲ませて  
あげられないよっ!!

んぐっ…  
んっ…!

ちゅっ

ちゅっ



そうそう  
良い顔に  
なってきたね

もっと自分が  
くちまんこ  
だって事を自覚して  
僕のちんぽしゃぶり  
とるんだッ!!

んっ

んっ

んっ

んっ

んぶっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



オッ……!!  
ヤベッ気持ちツッ!!

ハアツハアツ!!  
そろそろイクよツ……!!

んぶっ

んっ

遥香のくちまんこに  
ザーメン  
中出しするぞっ!!

ぐっ……!  
イクツ……! /

イクツ……イクツ  
イクくうううツツ……!!









ブヒヒッw  
ごっくんは  
出来なかったかな？

まあ気持ち良かった  
から許してあげる♡  
次は頑張ろうね♡

ゴホッ...!!  
ゴホッ...!!

おっ...!!  
おっ...!!

ホッ...!!  
ホッ...!!





オッほッほッ!

んっ

んっ

んっ

んっ

はっ

はっ



ああ〜遥香さん  
イクイクイクッ…!!

どよめく  
ひびく  
る。

んっ!

ドクッ  
ドクッ

んっ  
んっ  
んっ



はっ

はっ

終わりましたか?

はああ  
気持ち良かったあ

それじゃあ  
私はこれで失礼  
しますね...

やっ

そんな冷たい  
事言わないで

もう少し  
イチャイチャ  
しようよお♡

やめて  
くださいっ…  
私もう帰らなきや

はああ  
遥香さんの  
頭皮いい匂い♡

俺…

モミ♡





ブヒヒW  
イチャイチャ  
してたらまた  
チンポ立って  
きちゃった♡

もう一回  
はめはめして  
あげるね  
遥香さん♡

ちよっと！  
やめてくださいっ！！

今日はもう  
二回も出した  
じゃないですかっ！

ブヒヒW

びん

びん



いやあっ!!

おっふうッ...!!



木本さん  
やめてくださいっ  
こんなのひどいですっ!!

ふうっふうっ  
遥香さんが  
悪いんだろ!!

こんなムチムチな  
エッチな身体して!  
二回くらいじゃ  
出したりないよっ!



ハアツハアツ  
気持ちいいツ!!

ムチムチ  
人妻肉オナホ  
最高っっ!!

んっあっあっ

そんなに  
激しくしないでっ  
くださいっ!!

あ

あ

あ

あ



遥香ア

遥香好きいい

ッ!!

あ、

あ、

や、

あ、

あ、

フウ

フウ

ッッ!!

ッッ!!

ッ!!  
ッ!!  
ッ!!



遥香アッツツツ!!!



フウ~~~~ッ  
フウ~~~~ッ

遥香まんこ  
気持ち良すぎて……  
三回目なのに  
こんなに出ちやっただ……♡

はあっ……  
はあっ……

うづう……

やっ






木本の行動は次第にエスカレートしていき  
その豚のような性欲を俺の妻に吐き出した

その光景に頭が割れそうな程の嫉妬と怒りを抱く

だがその光景に激しく感情が揺さぶられる程に  
それを上回る興奮が沸き上がった



生

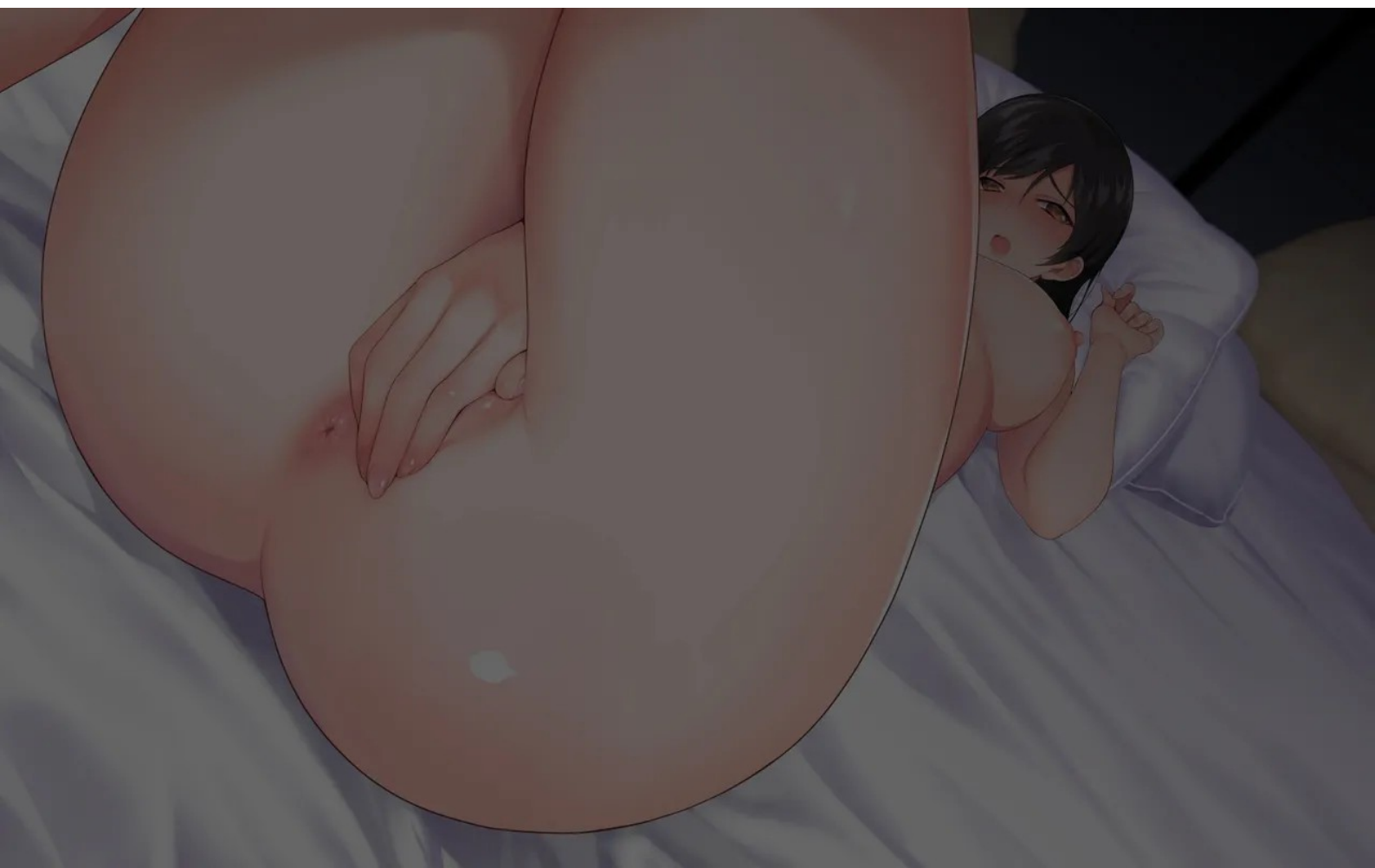


何度もその場に飛び出し止めようと思った  
だがこの異様な背徳感に抗う事ができず  
俺はただ快楽に身を任せ精液を吐き出した

そうしている内に  
やがて妻の方に  
変化が訪れ始めた……

生

生





いや... 私こんなの  
恥ずかしいです...

いいからいいから  
いつもご奉仕してくれる  
遥香さんのために  
今日は僕がいっぱい  
気持ちよくしてあげる

ほら  
ちゃんと  
股開いて

モテモテ

ムネ

ムネ

ムネ



カッパッ

うっ  
うっ  
うっ  
うっ  
うっ  
うっ

うほっ!

相変わらずピンク色で  
綺麗なドスケベまんこ♡

ハァ〜♡いい匂い♡

人妻まんこからメスの匂い  
ムンムン出してますよ遥香さん♡

いやっ…  
やめて  
ください…

すい

ん

むはあ〜ッ  
ッ…たまんねえ…ッッ





ぽちゅぽちゅ

ん!

びゅ

しゅるしゅる

ハァ♡遥香さん♡  
遥香さんのおまんこ  
美味しいよお♡

ジュプッジュプッ  
しゅるしゅるしゅる

あつ...!  
んっ...!  
んっ...!



じゅぶつ  
じゅぶつ  
ちゅばつ

ハアッおまんこ  
気持ちいいですか？  
僕がいっぱいナメナメ  
してあげますから

気持ち良かったら  
声出していいんですよ？

気持ちいい

んっ…  
気持ちよくなんて  
ないですっ…  
んっ…！

んっ

んっ

んっ

んっ



んっ…  
もういいでしょ…？

私の事はいいですから  
するのなら早く  
終わらせてくださいっ…

そんな強がり  
言わないで  
ほらほら♡

じゅぶっし□  
ちゅぶっちゅぶっ

もうっ…  
やめてくださ…

か  
な  
な



ふぁぁん

ゴク  
ン

チロ

!?



あれえ〜？  
どうしたんですか  
遥香さん？

もしかして  
クリが性感帯  
なんですか？

ちっ違いますっ！  
いっ…今のは  
ちよつと……

そんな事  
言いながら  
クリ勃起して  
ませんかあ？

してませんっ

マアアア

ほ

ほ

ドキ  
ドキ

んんん

ひく



やめてっ  
あんっ  
ああんっ！

どれどれ  
本当かなあ？

いやあっ  
はっあんっ！

びびり

びびり

はっ

はっ

あ

あ

びびり



何ですか？  
遥香さん感じて  
ないんですよねえ？

だったら  
いいじゃない  
ですかあ？

あゝあゝ  
やめてっ...!  
そこばかりっ

だめ

しりり

どろろ

だめっ...  
それ以上は  
やめてください

あゝあゝ  
あゝあゝ  
あゝあゝ

どろろ

どろろ







あれえ？いつちゃった  
んですか遥香さん？

は

は

おまんこぐちゅぐちゅ  
されて気持ちよく  
なっちゃったんですかあ？

いやっ  
違っ！





やっ……!

ゴクッ

ガッ

違わないでしょう  
おまんここんな  
ぐちよぐちよに濡らして

いいんですよ  
遥香さんだって  
気持ち良くなっても…

わかってますよ…

ゲッ  
ゲッ  
ゲッ

本当は  
たまってるん  
ですよね？

なっ…！  
そんな事…！！





!?

何を言っているんだ  
コイツ………?



隣の部屋にあなた方夫婦が越してきて：最初は毎晩お盛んな声が聞こえていたのに

ここ数年はめっきりそれもなくなった

本当はまだまだやりたい盛りなのに…

ずっとひとりです欲求を募らせていたんでしよう？

そんな事ありませんっ  
……！！

ビクッ

しりり

グッ  
グッ



元はと言えば  
旦那さんのせいで  
こんな事をさせられて  
いるんだ…

いいんですよ  
遥香さんだって  
楽しんで

何を言っているんだ  
コイツは……！  
俺の妻はそんな淫乱な  
女じゃないっ……！！

しりり

グッ  
グッ

ビクッ

や

ビクッ

あー



溜まった性欲を  
処理する道具だと  
思ってくれれば  
いいんです

何も僕の事を  
恋人みたいに  
好きになれなんて  
言いません

.....

どうせ  
入れるんでしょ…

それなら  
早くしてっ…

わかりました  
じゃあちゃんとお願い  
してください

えっ…？

なっ…!!

本当はもう  
まんこがうずいて  
チンポ入れて欲しくて  
仕方がないんでしょう？

「チンポ入れてください」  
ってお願いしないと  
入れてあげませんか？

ほら…あんまり  
たらたらしてると  
旦那さんに  
怪しまれちゃいますよ？



遥香………?

木本さんのっ…

私の中に…入れて  
くださいっ………!!

きん  
きん

ドキ

ドキ

グフフフッ!  
よく言えましたね!

いいでしょう  
ご褒美に遥香さんのおまんこ  
たっぷりかき回してあげますよっ!!

遥香…お前何言って……

ほらお尻突き出して

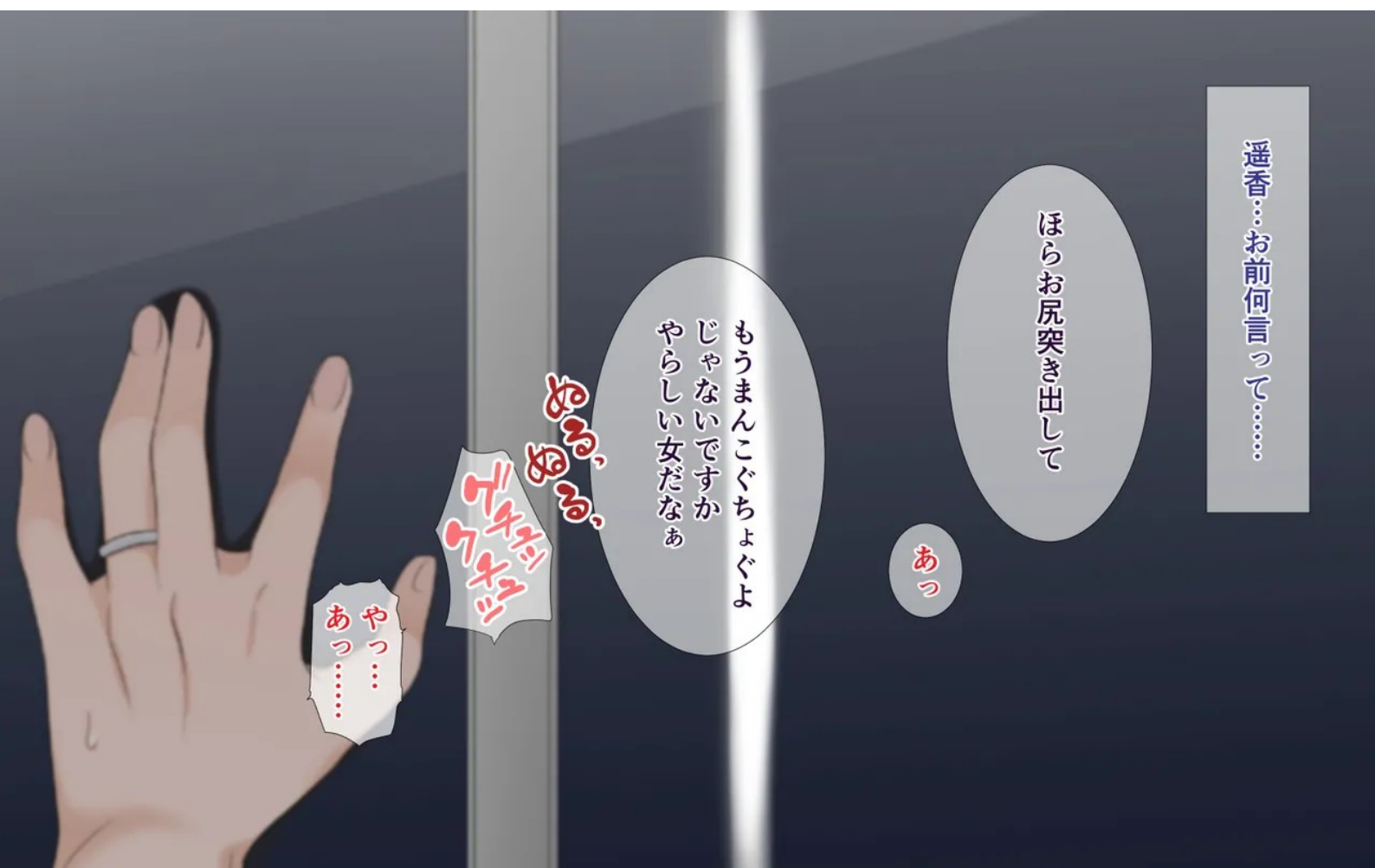
あっ

もうまんこぐちよぐよ  
じゃないですか  
やらしい女だなあ

ぬる、  
ぬる、

ゲキキッ  
ゲキキッ

あっ  
やっ……





ああああん

おっぱい

あ

あ



ぐっ…熱いっ…!  
まんこの中ドロドロに  
なってるよ遥香さんッ

こんなにくちよぐちよに  
チンポ啜え込んで  
よっほどこれが欲しかったんだね

いやっあっ  
違っ…!!

ッ

ッ

ッ

ッ

こんなスケベな音出して  
男のチンポ啜え込んで  
違うじゃないでしょう!!

本当は最初から感じてたんだろ!?  
旦那よりデカイチンポで  
貪るみたいに犯されて

内心興奮してたんだろ  
この変態女め!!

あつあつ  
違いますっ…  
そんないじわる  
言わないでっ…!!



ほら言ってみろ!!  
旦那のチンポと  
どっちが大きいんだ!?

あっあっ...!!  
木本さんの方がっ...あっ  
大きいですっ...!!

あっ! あっ! だめっ...!  
そんなに突いたらっあっだめっ!!





イキそうか!?

イク時はちゃんと「イキます」って言うってからイクんだぞっ!!

あっ!!あっ!!あっだめっ!!!

イキっ……イキますッ……!!

いっ!!

いっ!!

いっ!!

あ

イキますっ

イキますっ……!!


いっ……あああッ

あ

いっ!!







そう…  
いっぱい涎出して  
音をたてながら  
しゃぶって…

それから妻は  
次第に変わり始めた



あっあっ  
あっ...!!  
凄っ...  
おおきっ...!!

木本との行為に  
感じている素振りを  
見せ始め

エスカレートする  
木本の要求にも  
恥じらいながらも  
素直に応じる



俺の背徳的な興奮は  
次第に焦燥や不安に変わり

それは目を増すごとに  
膨れ上がっていった



遥香……  
遥香ッ……!!

待て……  
待ってくれ……

遥香……俺の……  
俺の妻だ……!!

どんなに身体を  
弄ばれようと  
心だけは俺の……!!



…それでね  
木本さんは野菜が  
苦手みたいだから  
次に作ってあげる  
料理は…



やめてくれよっ…  
家にいても  
アイツの話ばかりっ…！

ッ…!!

グ  
ッ

キヤッ！

俺は強引に  
妻の手を引き寄せた

ハアツ……!  
ハアツ……!

最近してなかっただろ……?  
なんだかムラムラしちゃってさ……  
な……いいだろっ……?!

遥香……  
遥香……!!  
俺の妻だ……

胸が熱いっ……  
妻を……妻を抱きたいっ……!  
この柔らかな身体を  
思うままに……



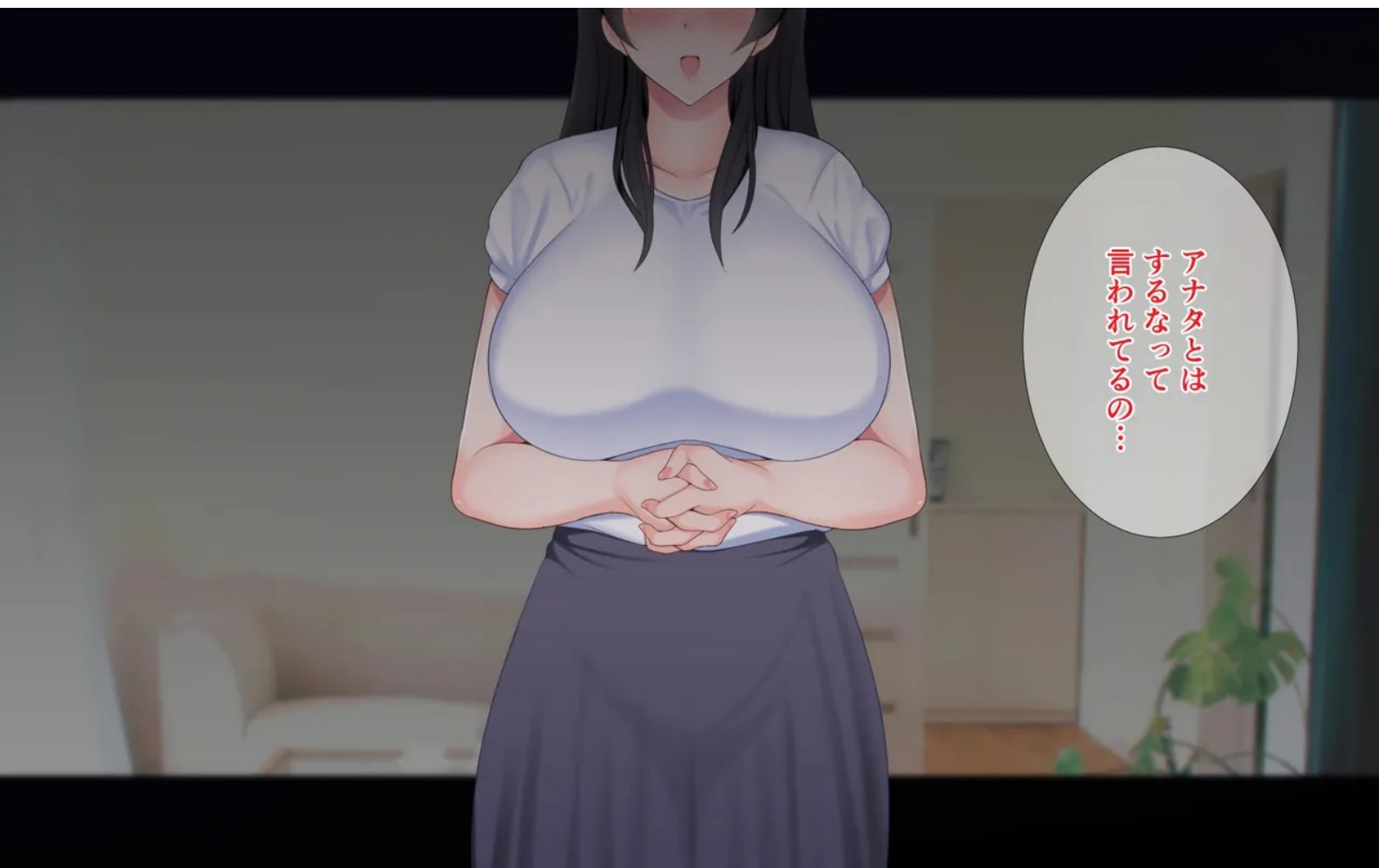
やめてっ……!?

!!  
ツ

ツ……!?

どうしてだよっ……  
俺達夫婦だろっ……!?

……ごめんなさい



アナタとは  
するなって  
言われてるの…

.....えっ？

あっ...!  
ごめんなさいっ!  
じゃなくてっ...  
今日はもう  
疲れてるから

私先に休むね!  
おやすみなさいっ!

ボタン



『ナイチンゲール症候群』というものの話を聞いたことがある



看護をする者が看護相手に対して恋愛的感情を抱いてしまう現象の事を言うらしい

優しく献身的な性格の妻が  
ろくでもない隣人に対して  
母性にも似た感情を刺激されたのか

夫よりも若く旺盛な性欲に  
女としての悦びを感じてし  
まったのか  
それは定かではない



だが俺の知らない内に  
妻の心は俺の手の届かない  
遠くへ行ってしまったような気がした…





木本さん…  
私やっぱり…

できませんっ

んっ…  
やめてくださいっ  
こんな所でっ…!

そんな事言いながら  
遥香さんのここ  
いつもよりぐちよぐちよ  
になってますよ…

グフフツ  
本当は興奮  
してるんでしょ？

んっ…んっ…！  
やめてくださいっ…！  
声っでちやいますっ…！





ほら：  
ギャラリーが  
集まってきた：

みんなに  
遥香さんのスケベな所  
見せてあげな

はっ：  
んっ…んっ！  
そんな事っ…！

大丈夫  
暗くて顔は  
よくわからないから

ほら  
早く！





はあっ...はあっ...  
見てください...

私のエッチな所...

いっぱいいっぱい  
見てくださいっ...!!

あ

はっ…  
うわエロっ…!!

グフフっ  
ほらみんなに  
見られてるよ  
遥香さん

おっばい  
でけえっ…!!

今どんな  
気持ちなの？

あっ…!  
はっ…あっ…!  
恥ずかしいですっ…

恥ずかしい  
だけじゃ  
ないでしょ？





あつ  
恥ずかしいけどつ  
見られてドキドキ  
しますっ…

木本さんのつ…んつ  
太いおちんちんで  
突かれながらつ  
感じてる所見られて  
おまんこきゅんきゅん  
しちゃいますっ



ヤッベッ...!  
俺もう我慢  
できねえッ...!!

ハアツ!ハアツ!  
おちんちん  
シコシコ  
されちやつてる

エツチな所見られて  
せーしどぴゅとぴゅ  
されちやうよおっ!

ハアツ  
ハアツ...!!

シコシコ

おちんちん

おちんちん

おちんちん

おちんちん



あっあうっあん♡  
すごいっ!!!

恥ずかしいのになっ  
気持ちよくてっあんっ♡  
頭おかしくなっ  
ちやううっ♡♡♡

ぐっ!!!  
すごい締めつけたっ...  
出すぞ遥香っ!!!

だひてっ♡  
おちんちん  
じゅぼじゅぼして  
えっちなせーしっ  
ぱい  
だひてえっ♡♡♡



あつあつあつあつ!!  
いっちやうっ♡

だめえっ♡  
いっちやうっ♡♡♡

あ♡

お外で変態えっち  
してる所みられながら  
いっちやうよおおっ♡♡♡

あ♡





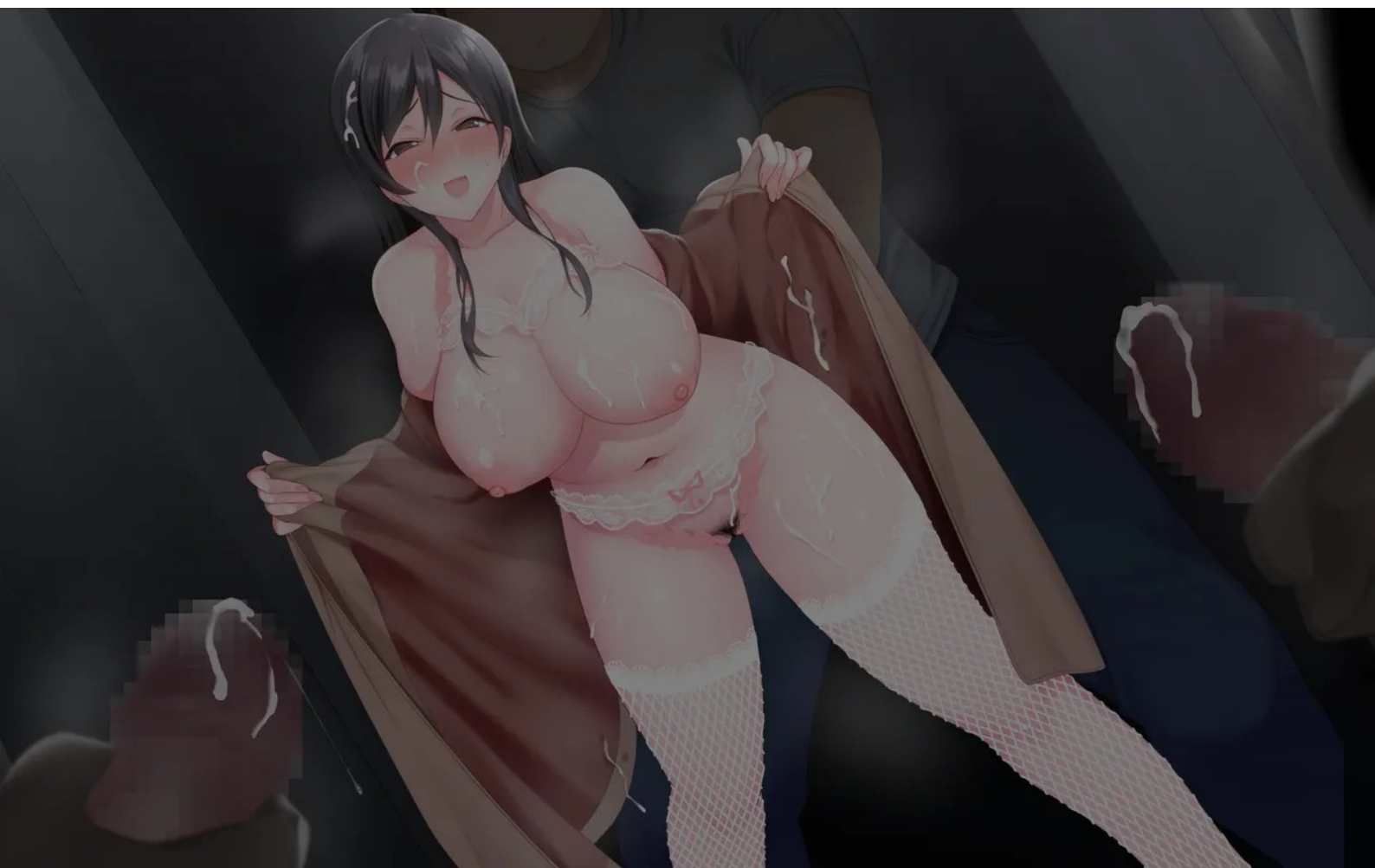
はあっ...はあっ...  
えへへ...  
せーし  
かけられちゃった♡

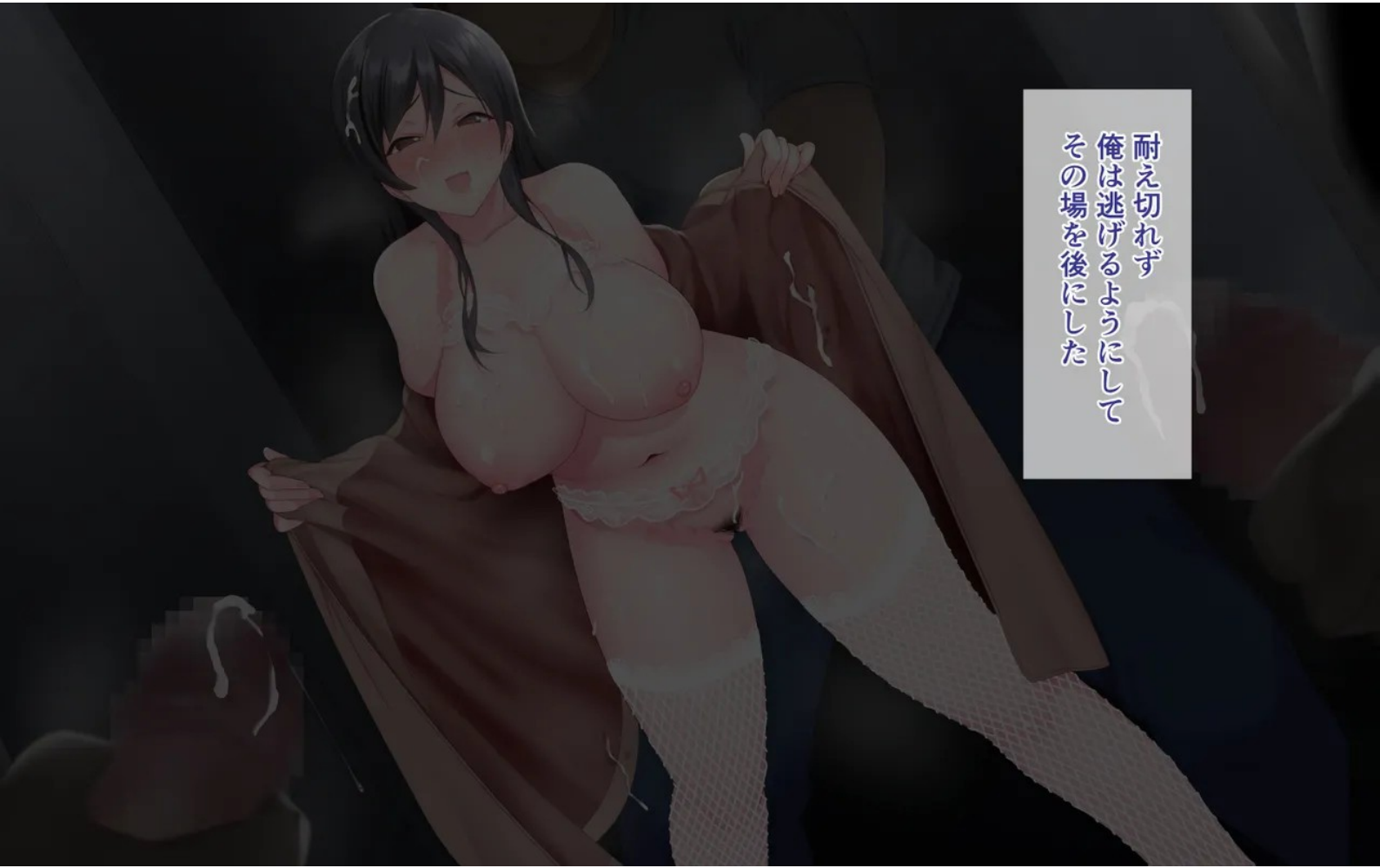
お

私のエッチな身体で  
いっぱいしこしこ  
どぴゅどぴゅしてくれて  
ありがとうございます♡


は

は





耐え切れず  
俺は逃げるようにして  
その場を後にした

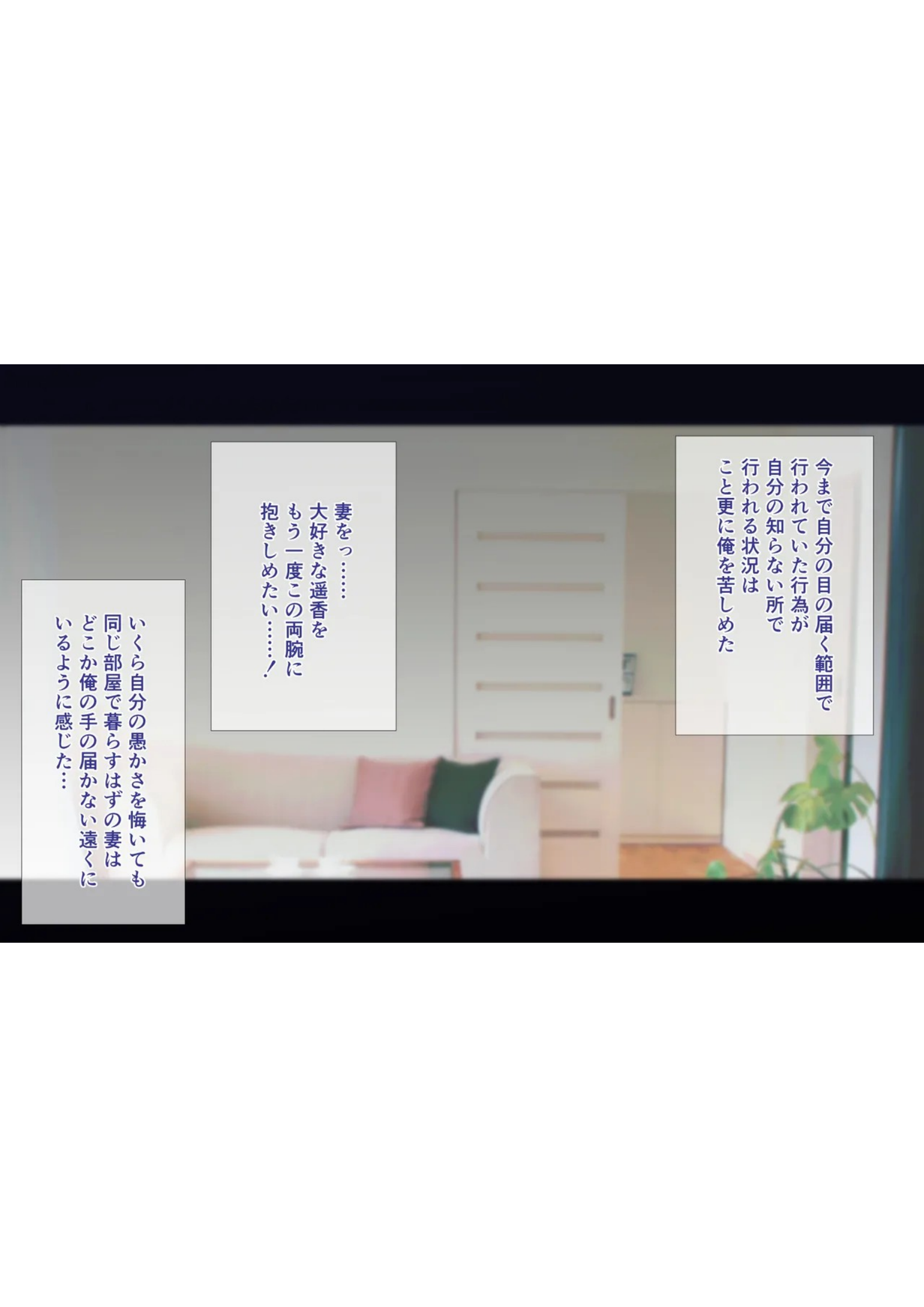


それから少しして  
妻は木本の部屋へ  
通うことをやめた

怪我也回復に向かい  
もう妻が世話をする必要が  
なくなったらしい

だがそれは恐らく  
行為が無くなった事を  
意味するのではない

俺が仕事で家を空ける  
日中に関係を持っているため  
わざわざ俺のいる間に  
通う必要がなくなったのだ



今まで自分の目の届く範囲で  
行われていた行為が  
自分の知らない所で  
行われる状況は  
こと更に俺を苦しめた

妻をつ……  
大好きな遥香を  
もう一度この両腕に  
抱きしめたい……！

いくら自分の愚かさを悔いても  
同じ部屋で暮らすはずの妻は  
どこか俺の手の届かない遠くに  
いるように感じた……


もしかしたら  
もう妻は木本と関係を  
持っていないのかもしれない

遥香は優しく健気で  
俺の事を愛しているんだ

俺のいない間に  
不貞行為に耽るなんて  
するはずがない…

ハアツ…  
遥香…  
遥香…!!

シ  
シ  
シ



俺はどうしても  
それを確かめたくて  
ある日ついに会社を休むと

出勤をするふりをした後に  
こっそりと部屋へ戻り  
寝室のクローゼットの中へ  
身を潜めた……………

↑x.y...

↑x.y



↑x.y





クチュッ♡

グフフっ  
相変わらず遥香は  
キスが好きだなあ

はぁ♡

はぁ♡

クチュッ

んぢゅ♡

ちゅぽ♡

はぁっ♡はぁっ♡  
木本さあん♡  
しゅっちゅぶっ♡

ちゅっ♡ちゅぶっ♡  
んふう♡  
れるっれるっ♡  
ちゅぱちゅぱ♡

クチュッ



キョッ♡

ボッ♡

キョッ♡

ほ♡

ほ♡

ロ♡

うん♡  
きひゅ大好き♡  
もっといっぱい♡  
ちゅーひてえ♡

ハア♡ハア♡  
ちゅ♡ちゅ♡  
べろべろ♡♡

モ♡

す♡  
す♡

ふふふっ  
スケベな女だ…  
そんなに必死に舌を絡めて  
僕とのセックスが  
そんなに待ちきれ  
なかったのかい？

はい♡  
待ちきれ  
ませんでした♡

だから言われた通りに  
おちんちん想像しながら  
オナニーして…何回も  
いっちょやいました…♡  
はあっ…♡

はあ♡



くくく…  
よおしい子だ…  
だけど一人で  
何度もイクような  
スケベな女には  
お仕置が必要だなあ…

はううん…♡  
お仕置き…してください…♡  
スケベな悪い子にっぱい  
お仕置きしてください…♡♡



よおしそれじゃあまず  
遥香の発情した  
メスの身体を使って  
ご主人様のチンポを  
気持ちよくするんだ

はい…♡  
遥香のえっちな身体で  
いっぱい気持ちよくなつて  
ください…♡

オの  
オの

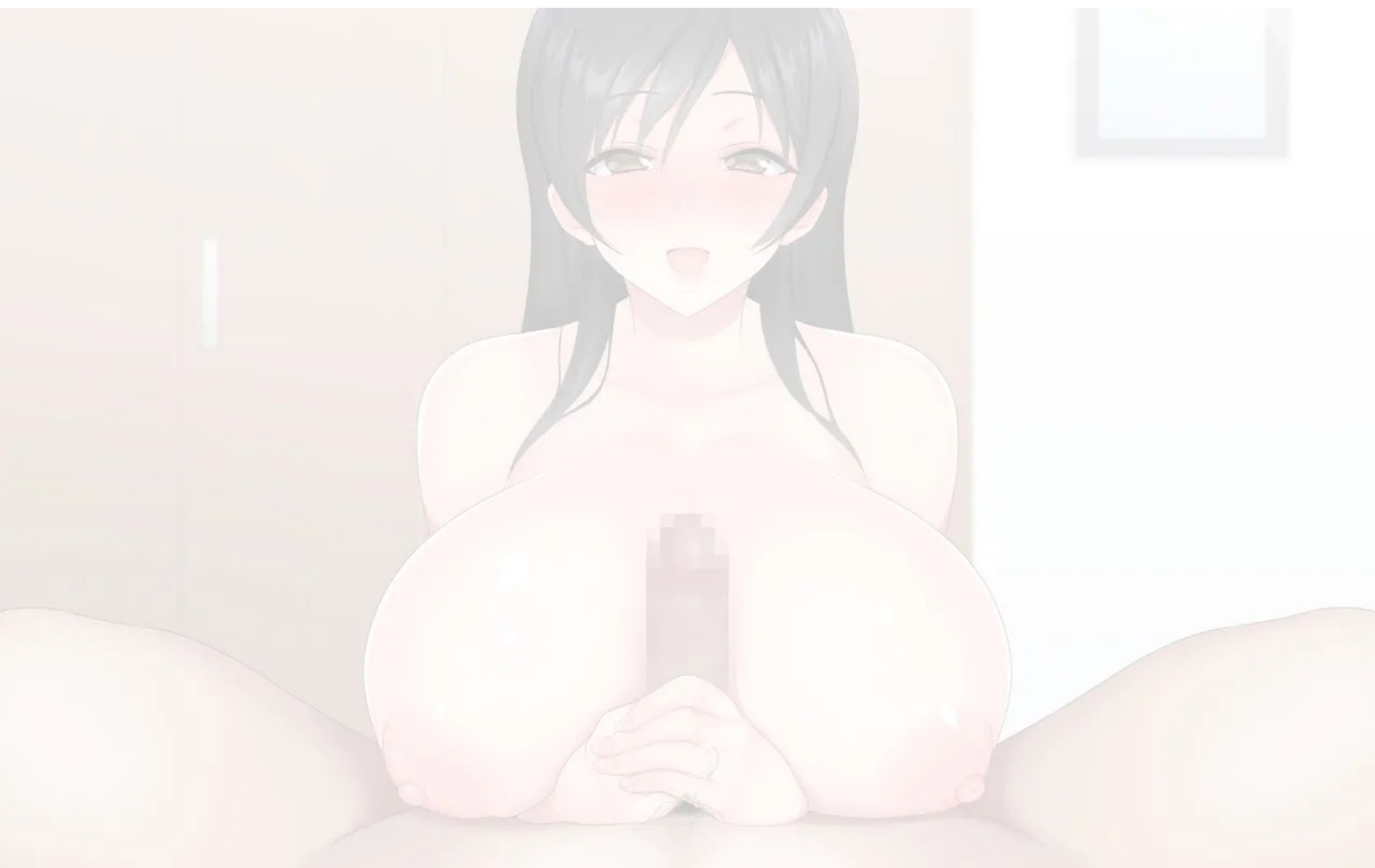
オの  
オの

はま

オの

オの

はま



はあっはあっ…  
えへへ  
おちんちんもう  
カチカチになつてる♡

遥香とのべろちゅーで  
いっぱい興奮して  
こんなにおつきくて熱く  
してくれましたか？

えへへ♡嬉しい♡  
おつきくて硬い  
おちんぽ大好きです♡





えい♡  
はさんじやった♡

うふふ♡  
おっぱい柔らかい  
ですか？

すごおい♡  
おちんちん熱くて  
遥香のおっぱいの中で  
びくんびくん  
脈打ってる♡

む

にゅ♡

ふた♡

ふた♡

ふた♡

んふええ…

うふふ♡ご主人様の  
熱くて硬いおちんちん  
私のエッチなおっぱいまんこで  
いっぱいしこしこしますね♡



むにゅむにゅ  
しこしこして  
いっぱい  
気持ち良くなって

たまたまの中の  
こつてりザーメン  
私のおっぱいの中に  
いっぱいごぶごぶ  
してください♡



はあっ♡  
はあっ♡

たぶろ♡

たぶろ♡

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

ぐあっ……!!  
ムクムク

たぶろ♡

んっ…  
すごい…♡  
おちんちん  
びくびくしてる♡

おっぱいのナカ  
気持ちいいですか？

ぐっ…あぁっ  
気持ちいいぞっ…！

モチモチの乳肉が  
搾り取るみたいに圧迫して  
吸いついてくるっ…  
なんてスケベな乳  
してやがるんだッ…！！





はぁっはぁっ  
嬉し♡♡

それじゃあ  
もっと激しく  
おっぱいでよこめっ  
しますね♡

私のえつちなおっぱいで  
もっといっぱいはいっばい  
気持ちよくなつて  
ください♡

はぁ♡

たぶろ♡

はぁ♡

たぶろ♡

たぶろ♡

たぶろ♡

たぶろ♡

たぶろ♡

たぶろ♡

たぶろ♡



あぁっ気持ちいいよっ  
すごい乳圧だっ…!!  
チンポ搾り取られるッ…!!

あん♡凄いい♡  
おちんぼどんどん  
硬くなってきた♡

気持ちいい  
ですか？

ハアツハアツ…  
どうですか？  
私のパイズリ♡

んっ♡  
んっ♡

ハアツハアツ♡  
うふ♡おっぱいのナカ  
よだれでぬるぬるになつて  
くちゅくちゅ言ってる♡

うぐっ……！  
気持ちいいっ……！  
トロ肉乳まんこっ……  
たまんねえっ……！！

はあ♡はあ♡  
凄い気持ちよそうな  
顔になってる♡

もっと気持ちよ  
くなくて下さい♡  
私のおっぱいで  
気持ちよくなつて  
顔  
もっとみせて下さい♡



ぐっ…だめだっ  
遥香もうッッ…!!

いつちやいそうですか？  
いいですよ♥  
いっぱい  
出してくださー♥

おちんぼ気持ち良くなって  
たまたまの中のどろどろ精液  
私のおっぱいのナカに  
いっぱいナカ出し  
してください♥

びゆるびゆるって  
ザーメン射精するところ  
いっぱい見せて  
ください♥♥♥





ぐっ……イクぞツツ!!

イクツイクツ……!!

イクうツツツ!!!

おっす

おっす

おっす



おっす

おっす

おっす

おっす

おっす







はあっ...♡♡♡

はあっ♡♡



こんなに出されたら  
おっぱい妊娠  
しちゃいます...♡♡

熱くて濃い  
ぶるぶるザーメン  
いっぱいナカ出し  
されちゃった...♡

はぁ...♡

はぁ...♡

はぁ...♡

はぁ...♡

はぁ...♡



んっ…はあっはあっ  
すごい…  
今出したばかりなのに  
おちんちんもうカチカチ…♡

おまんここすり付けるたびに  
ドクンドクンって  
熱いのが伝わってきて…

はうん…木本さん…  
私もう…♡



ぐひひ…  
ぐちよぐよに濡らしたまんこ  
そんなに必死にこすりつけて

入れてほしいのか  
遥香？

ちゅ

ちゅ

ひやいつ…  
入れてほしい  
でしゅっ…  
♥♥♥

ずっと欲しかった  
木本さんのおちんちんで  
おまんこいっぱい  
ズポズポしてほしいでしゅ  
♥



ゴムは着けなくていいのか？

はい……♡  
ナマで……シて  
ください……♡

しちゃ♡

しちゃ♡

木本さんの  
おちんちん直接  
おまんこで感じさせて  
ください……♡

出す時だけ……  
外で出せば大丈夫  
ですから……♡









おまんこのナカにつ  
入ってりゆううっ  
♥♥♥

くううん!♥♥♥  
しゅごいつ!♥♥♥  
ガチガチのおちんぽ

おっ♥  
んあっ♥

アッ  
アッ  
アッ  
♥  
♥  
♥

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
♥

アッ  
アッ

アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
♥  
♥

ぐっ…ノまんこの中  
ドロドロのぐちょぐよよに  
なってるやがるっ…!!

パイズリとキスだけで  
膣の中こんなにエロい  
メス豚性器にしゃがってッ…

ほらッ自分で腰振って  
ヨガってみろッ!!

はっはっ…♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡





んっ♡  
おっ♡  
オッ♡

しゅごいッ……!!!  
ナマチんぽしゅごいよおッ♡♡♡

おっきつ…  
おっきひッおちんちんっ  
奥まできてるのお♡♡♡

おっきひッおちんちんっ

おっきひッおちんちんっ

おっ♡



おちんぽおツ.....♥♥♥

おちんぽツ♥

おちんぽ♥

アツッ  
アツッ

アツッ

.....



くくくく……  
どんなに  
調教しても……

やっぱり遥香は  
女の子だなあ……

ふえっ……?

甘々甘々……





いいかッ!!

チンポってのはなあッ

こうやって  
突くんだよオッ!!!

カッ  
カッ  
カッ

カッ  
カッ  
カッ



オツ♥

おツ♥

アツ♥♥

ダメツ……!!  
ダメでしゅツ!!

ムムム

ムムム

しょんなに突いたらツ

おかしくなっちゃいましゅツ……!!

アツ!!しゅごいツ!!!

おちんぼ奥までごつごつ

届いてりゅうツツツ♥♥♥

オツ

アツ



アツッ♥  
アツッ♥

いっちやいましゅう♥  
いっちやいましゅう♥

いっちやいましゅう♥♥

いっちやいましゅう!

いっちやいましゅう!

いっちやいましゅう

いっちやいましゅう

ガキガキ  
おチンポで  
子宮口ぐりぐりされて  
意識とんじやい  
ましゅッ♥♥

おまんこッ...!  
おまんこ  
いっちやいましゅう  
ッ♥♥♥

それじゃあ子宮にたっぷり  
精液そそいでやるッ!!

ちゃんと  
受け止めるんだぞ  
遥香ッッッ!!

ああッ!  
らめッ...!  
外につ...

しよとに  
らひてくだしやいッ

アッ♥りやめッ♥  
イクッ♥♥♥♥♥  
イっちやう♥♥♥♥♥

イキましゅっ!!!  
イキましゅっ!!!  
♥♥

イクうううッッ♥♥♥♥♥







あはああッ.....♥

あッ

おッ

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...



はあッ...

はあッ...

りやめつ...  
なのにい...

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

濃くて...どろどろのしえーえき...  
おまんこにいつぱい  
種ちゆけしやれちやったよオ...♥



ククク…まだまだ  
こんなもんじゃあないぞ…

今日はとことん  
可愛がってやるからな



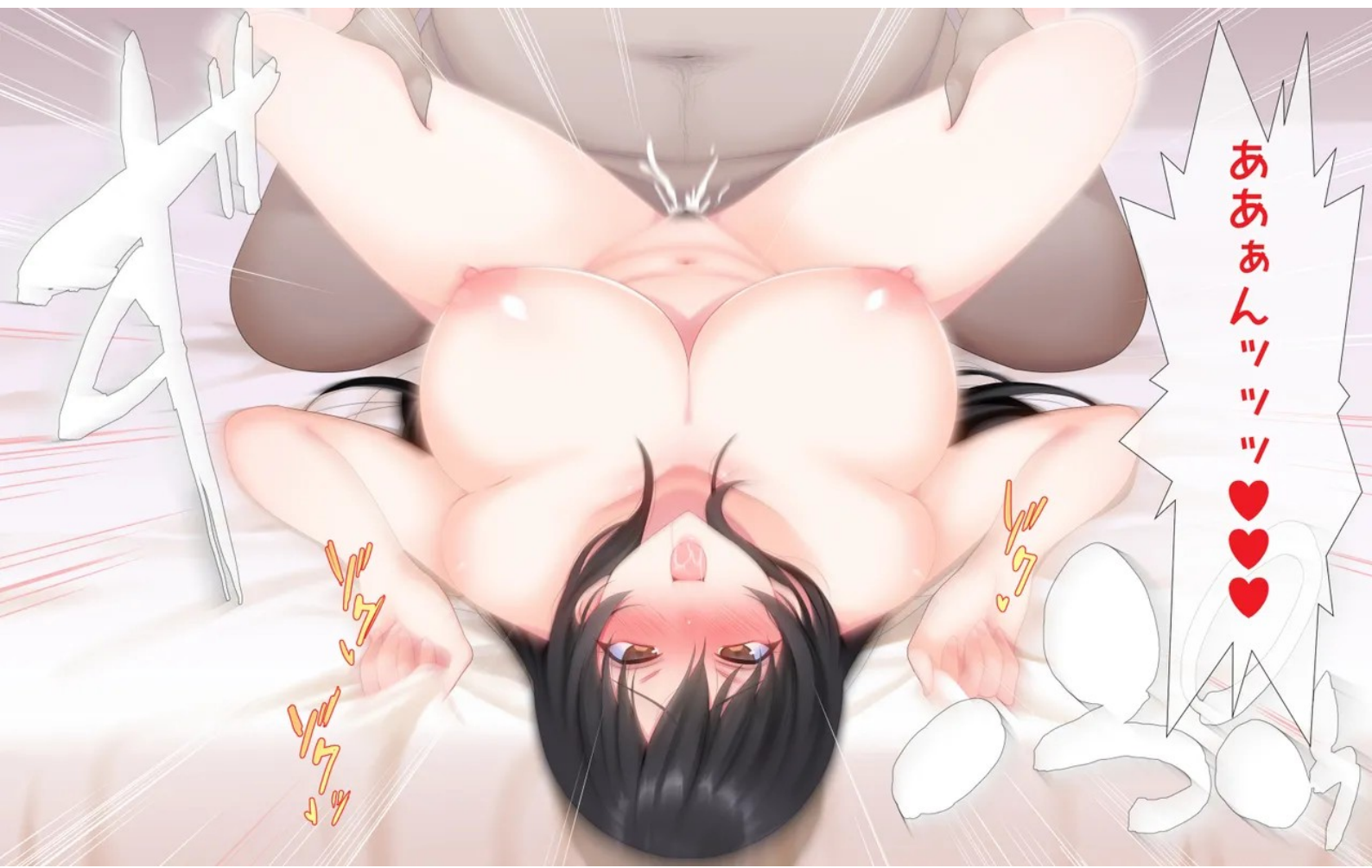
ンプツ♥らめえツ…♥  
私これ以上シたら  
おかしくなっちゃうよオ…♥  
んぶっ！ジュルルツ！！  
ジュプツ♥ジュボツ♥♥

ツ…そう言いながら  
物欲しそうに  
しゃぶりつきやがって…

ほらツ股を開くんだツ  
望み通りチンポぶち込んでやるツ！！

あんツ♥  
らめえツ♥  
本当に…あツ

あああツ…♥



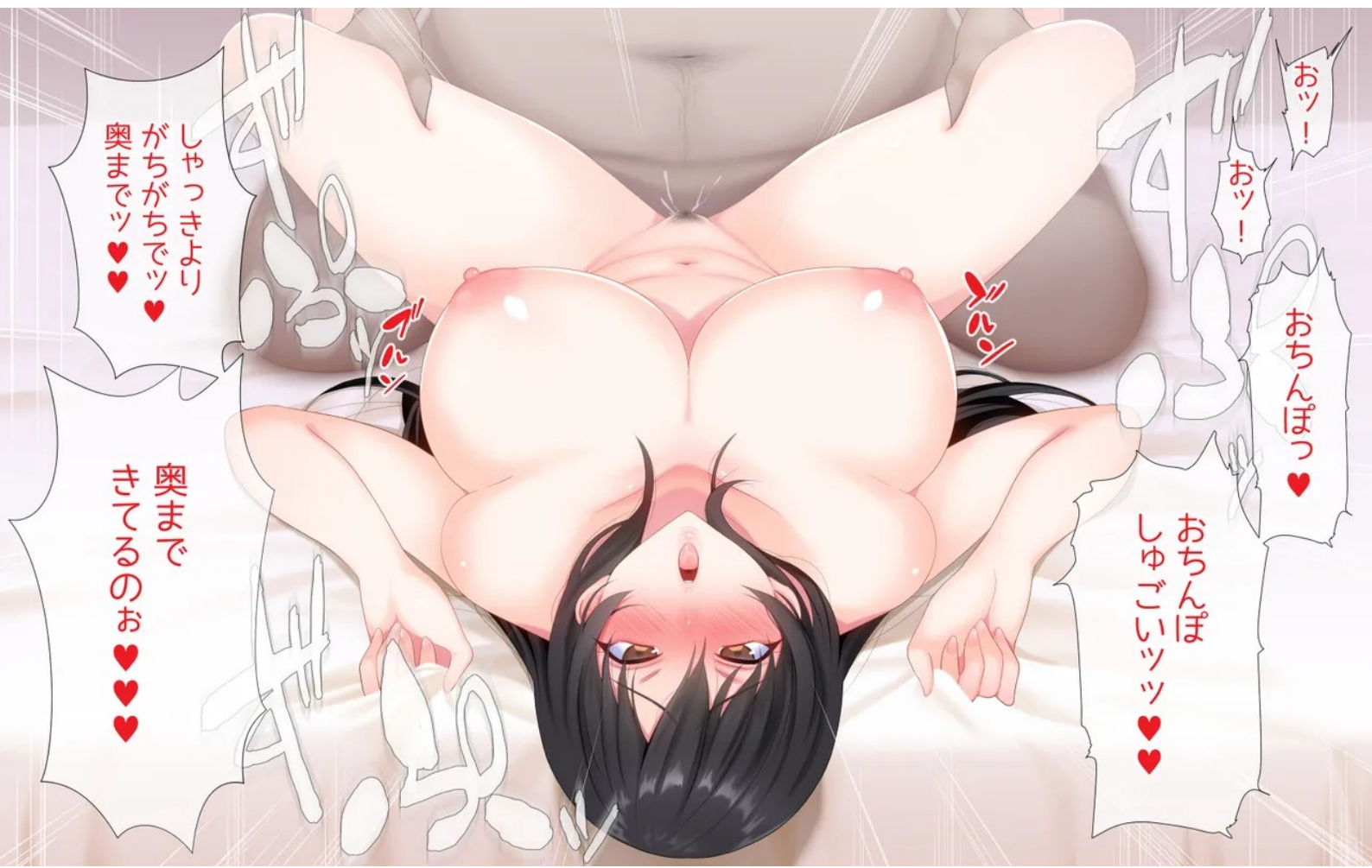
ああんツツツ♥♥♥

ツツツ♥♥♥

ツツツ♥♥♥

オ

オ



おっ!

おっ!

おちんぽっ ♥

おちんぽ  
しゅごいッッ ♥ ♥ ♥

どん

どん

おちんぽ

おちんぽ

しゃつきより  
がちがちでッ ♥ ♥ ♥  
奥までッ ♥ ♥ ♥

奥まで  
きてるのお ♥ ♥ ♥

ぐっ…何回入れても  
スケベな淫乱まんこだッ!!

膣肉がギュウギュウ締まって  
ドロッドロにチンポ  
啜え込んできやがるッ…!!

このデカイ乳もまんこも  
男を欲情させて  
チンポぶち込んで  
もらうためだけに  
こんなにスケベに  
成長させやがってッ…

この淫乱な  
メス豚女がッ…!!





あツ♥あツ♥  
ごめんなしやいッ

男の人を興奮させる  
えっちなメス豚で  
ごめんなひやいッ

アツ♥アツ♥  
感じちゃうのっ♥  
結婚してるのにイ

ガチガチおちんぽで  
ズポズポされて  
おまんこきゅんきゅん  
しちゃうのおおツ♥♥♥

アツアツ

アツアツ

アツアツ

アツアツ

グフフツ!!  
旦那のチンポとどっちが  
気持ちいいんだ?  
言ってみろッ!

こつちのおちんぽオツ  
このおちんぽが  
気持ちいいのオ♥

おまんこズボズボ  
犯されりゆ度  
頭まつしりよになつて  
何にも考えられなく  
なつちやうのおツ♥♥♥





可愛いなあ遙香は!!  
すっかり僕のチンポ  
無しじゃいられない  
淫乱なメス豚に  
調教されて!!

ほらッ旦那に  
謝らないと!

旦那が会社で働いてる間に  
浮気チンポでよがり狂って  
ごめんなさいって!!



あッ♡  
あッ♡

ごめんなひやいッ

結婚してるのにつ  
二人のベットで  
浮気セツクスして  
ごめんなしやいっ!!

夫以外のチンポで  
気持ちよくなつて  
ごめっ…アツッ♡  
そっ!!♡

アツ♡  
しゅわん♡♡♡

おちんぽっ♡

おちんぽ  
気持ちいいよおツッ  
♡♡♡♡♡

ぐッ…一段と  
まんこキツくなり  
やがったッ…!

必死にチンポ  
啜え込みやがって  
生チンポそんな  
好きなのか?

しゅきつ♥  
しゅきなのお♥

太くて硬くて逞しい  
ガチガチおちんぼ  
大しゅきなのおッ♥♥

▽このおちんぼじゃなきや  
りやめなのおッ♥♥♥



ぐっ…そろそろ  
いきそうだッ…!!

ほらッ!!  
どこに射精して  
ほしいんだッ?

あッ♥あッ♥  
しよとにつ…  
しよとに出ひて  
くだしやいつ…!!

外でいいのか??  
遥香は変態人妻  
肉便器だよなあッ!?

ほらッ!  
本当はどこに欲しいのか  
もう一度言ってみろッ!!





おっぱい♡  
おっぱい♡

おっぱい♡

ナカにツツ!!

ナカに出して  
くださいいっ♡♡♡

おまんこのナカに  
射精して  
くださいいっ♡♡♡

おまんこ♡  
おまんこ♡  
おまんこ♡

おちんぼミルク子宮の奥に  
いっぱい射精してくださいっ！！

いけないメス豚まんこの中で  
いっぱい射精して  
どろどろに濃いザーめん  
いっぱい種付けしてくださいっ！！





フウ—— ツツ!

それなら望み通り  
種付け孕ませ  
射精キメてやるツツ!!

フウ—— ツツ!

俺の精子で子宮内  
たっぷりマーキング  
してやるからなァツツ!!

おっ

おっ

おっ

おっ


おっ

やめろッ……!  
やめてくれッ……!!



遥香は俺のッ……  
俺のッ……!





愛する妻の  
心も体も奪われ  
快樂によりがり乱れる  
見た事のない  
妻の姿を目の前にして

俺はただ悲しい程に  
膨張した自分のものを  
惨めに慰める事しか  
できなかった

だが何度射精しようと  
胸を締め付ける  
この苦しみが  
晴れる事などなかった

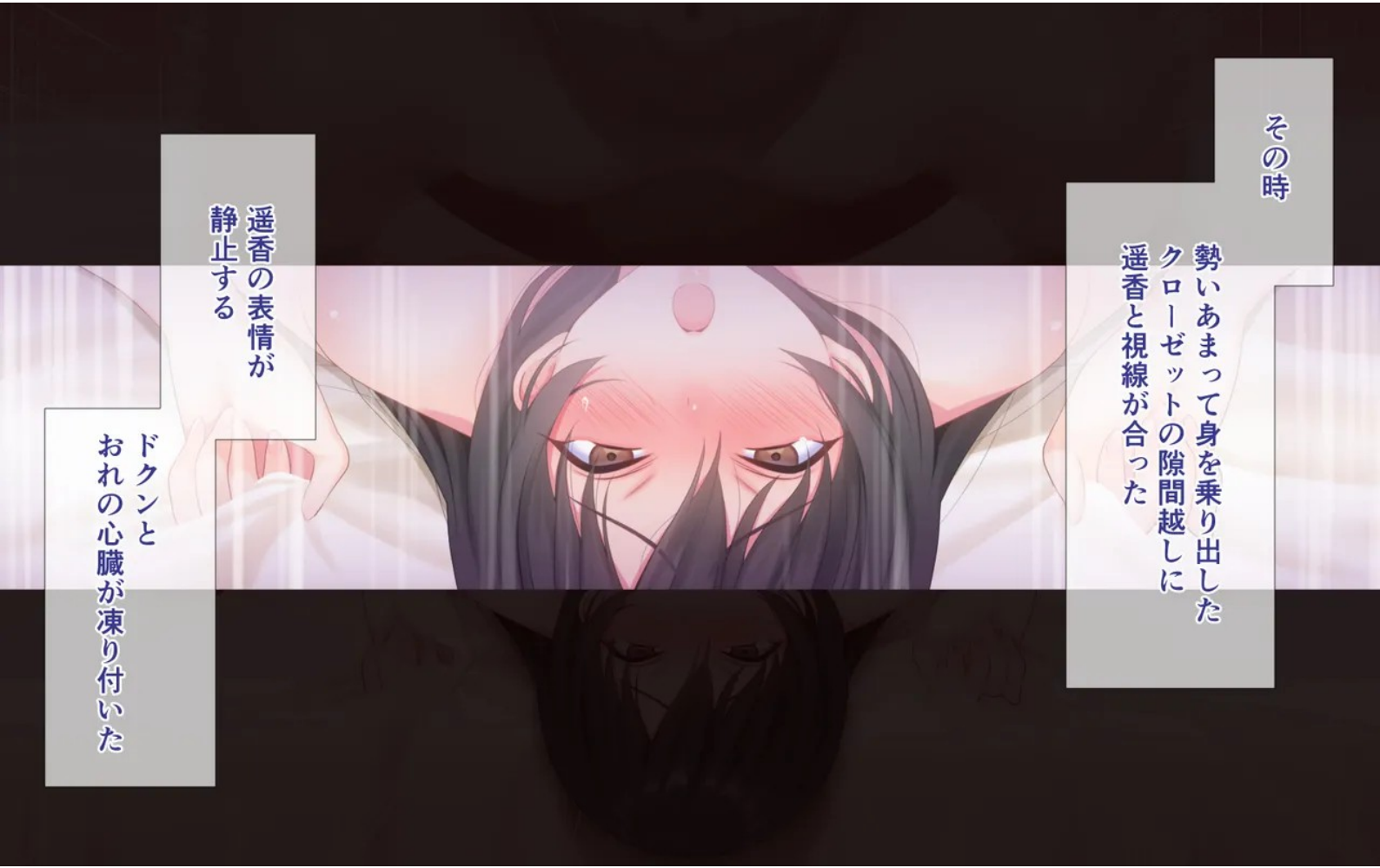


その時

勢いあまって身を乗り出した  
クローゼットの隙間越しに  
遥香と視線が合った

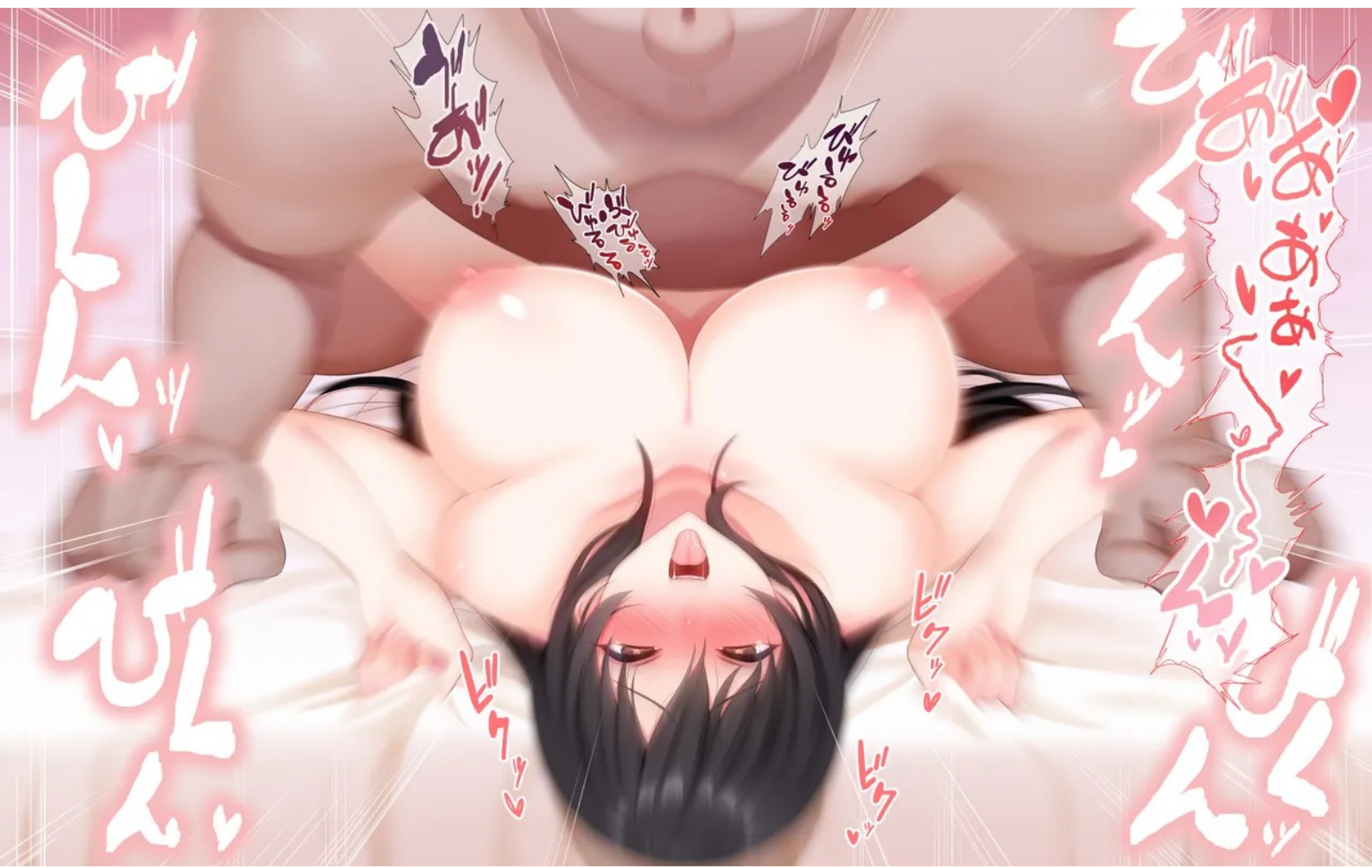
遥香の表情が  
静止する

ドクンと  
おれの心臓が凍り付いた



『にこり』と  
遥香は俺に微笑んだ









ハアッ...

ハアッ...

ハアッ...



あっ...

はあぁ.....♥

シロ...

おっ...



げひひひ…  
たっぷり中出し  
決めちまったぜ…

中出しセックスの征服感  
半端ねえな…

俺の存在に気付いても尚  
行為を続け  
膣内への射精を  
受け入れる妻を眼前にして

俺は胸を抉られるような  
敗北感と悲しみの中  
同時に絶頂を迎えていた

もう俺に二人を  
止める事など  
出来ないだろう

こんな俺に何が  
出来ると言うのだ…  
顔中涙で濡らし  
下半身を露わにした  
惨めなこの俺に…

俺はどうしようもなく  
弱くて情けない人間だ

これはそんな  
俺の弱さが招いた  
当然の報いだろう

くくく…  
遥香お前はもう  
僕の女だ

これからも  
僕専用の肉便器として  
一生大切に  
あげるからね…♡

ん…？  
なんだ？いつまで  
結婚指輪なんか  
着けてるんだ？

外しておけて  
再三言っただろう

あるはずがない

俺に二人を  
止める資格など  
ありはしない

ほう！  
貸してみろ！

あっ……

それでも……  
それでもツ……

なりふり構わず  
飛び出して  
止めに入りたかった

それでも



あつ...

妻が妻でなくなる  
最後の瞬間まで  
俺はただそれを見  
ている事しか  
出来なかった...

カキーン

ちくしょおおおおおッ!!

うわああああ!!



俺は半ばやけくそに  
部屋へと飛び出していた

だがそこに  
愛する妻を間男から奪い返そうなどという  
高尚な思いは無く

あるのは身勝手に惨めな嫉妬心だけであった

うわっ何だお前!!  
どこから出てきやがった!!

……ッ!!  
なんでズボンを  
履いていないんだッ!?

黙れえええッ  
お前こそ服を着ていないだろうッ  
ここは俺の部屋だぞッ

何でッ…  
何でお前なんか  
俺の遥香をおおッ!!

ぐっつ 離せ  
この変態野郎ッ……

ちくしょおおッ!!  
お前なんかッ:  
お前なんかあッ!!

離せって  
言っているだろうッ!!

ド  
カッ

キヤッ!!

たっ

木本さんっ!!

だっ

何だよっ…  
おっお前が悪いん  
だからなッ…!!

………!!

ぐあッ………!!

床にうずくまる俺を置いて  
木本の後を追  
妻は部屋を出て行った

ふと

彼女が立ち止まって  
こちらを一瞥するのを感じた

何かにすがるように顔を上げたが  
そこにはすでに淫香の姿は無かった

そのまま  
妻が俺の元に戻る事はなかった





ハアツ!!!  
木本さんっ…  
もっ…❤

もっ…  
激しくッ…❤

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡


あ♡



くくく  
だめだろ遥香

お腹の子の  
ためにも  
優しくしないと

ふふふ...  
そうね  
あなた...❤



こんな  
お腹になっても  
毎日求めて

本当に遥香は  
スケベな女に  
なったなあ

あら  
そんな風にしたのは  
どこのだあれ？

ワス  
ワス



ハアッ  
ハアッ

アッ♥アッ♥  
木本さんツそこっ♥  
気持ちいいっ♥

遥香ッ  
お前は永遠に  
僕のものだッ…!!

愛してるぞ  
遥香ッ…!!

アッ♥あんツ♥  
私もですッ…!!

あ♡

あ♡

あ♡

愛してます  
木本さん…

END【B】

寝取られ介護

B

エンディング

